 **社会医療法人 仁愛会医報**

集録：2020年1月～2021年12月



社会医療法人 仁愛会

# 社会医療法人**仁愛会**医報

集録：2020年1月～2021年12月

Vol.22・23 2022

## 社会医療法人 **仁愛会**

### **浦添総合病院（地域医療支援病院）**

つるかめ訪問看護ステーション

### **浦添総合病院健診センター**

浦添市事業所内保育事業 認可保育園 もこもこ保育園

内閣府所管企業主導型保育事業 にこにこ保育園

### **仁愛会在宅総合センター**

### **介護老人保健施設アルカディア**

アルカディア通所リハビリテーション

ヘルスアップステーションうらそえ

アルカディア短期入所療養介護

ことぶき指定居宅介護支援事業所

訪問リハビリテーションアルカディア

ヘルパーステーションらくだ

浦添市地域包括支援センターみなとん

浦添市地域包括支援センターさっとな

# 社会医療法人仁愛会医報

## 第22・23巻

### 目 次

巻頭言..... 病 院 長

#### 発表論文

誤嚥性肺炎予防に対する歯科的アプローチ

～歯科診療所および高齢者施設へのアンケート調査より～..... 小山 宏樹 他 1

介護職員への喀痰吸引等研修事業実施の振り返りと今後の展望について..... 安保 奈緒 他 8

#### 掲載

業績一覧..... 11

投稿規定..... 34

同意書..... 35

# 巻 頭 言

新型コロナウイルス感染症が最初に日本で報告され、約3年が経過している。この間、これまでの日常が大きく制限され、これまでに経験したことのないような様々な行動制限や我慢が強いられてきた。2022年後半からは世界では以前のような日常に戻っている国も多い中、日本でも徐々に制限は解除されているが医療界にとっては、免疫力の低下している患者や高齢者などを診療しているため、クラスターが発生すると重篤な状態になることもあり、職員の集団での飲食制限など接触機会を減らす生活様式を継続する必要がある。そのため、2020年、2021年の仁愛会研究発表会とグッドケア研究発表会が開催されなかったため、今回の仁愛会医報は合併編集で業績や投稿も少なくなり、残念な結果となった。仁愛会の職員には、非常に申し訳ないが、院内クラスターを発生させないためにも一人一人が日々の生活に注意を払い続けていただけることを希望する。この制限された日常でも、2023年は仁愛会にとって新病院開院の新たなスタートの年である。現病院が開院から40年を超え、施設も狭隘化し病室も6床室と患者のプライバシーなども保てない状況などの多くの問題点を解決すべく計画した新病院である。新しく導入する機器として3 TMRIやハイブリッド手術室、またスマートベッドシステムなどに代表されるIT化や集中治療などにおける新たな管理システムの導入など限られた予算の中で可能な限り現場の希望を取り入れて建設が進んでいる。2023年が仁愛会の新たな再出発の年になることを祈念する。

病院長 銘苅 晋

# 発表論文

# 誤嚥性肺炎予防に対する歯科的アプローチ ～歯科診療所および高齢者施設へのアンケート調査より～

小山宏樹 牧志祥子 宮良久美子 梶浦由加里 平良浩代  
上間友代 宇良美奈子 翁長由美 山城美咲 末吉亜李沙  
小橋川祐加 河野俊広\* 中村博幸\*

## 【要旨】

誤嚥性肺炎は、口腔内環境悪化および嚥下機能低下が要因の一つと考えられ、難治性で長期化しやすく、再燃しやすい特徴がある。さらに急性感染症ではなく慢性炎症として捉えることの重要性が指摘されており、急性期治療だけにとどまらず生活期での肺炎再発予防が肝要である。

今回、我々は地域包括ケアシステムの歯科介入に際し沖縄県内の歯科医院と高齢者施設へ現状把握の目的でアンケート調査をおこなった結果、施設職員からは利用者の飲み込みに関する不安は多かったが、県内で嚥下リハビリテーション（以下嚥下リハ）可能な歯科医院は約10%であった。

誤嚥性肺炎予防に対する歯科的アプローチとしては、病院歯科と地域歯科診療所との病診連携による口腔機能管理および口腔衛生管理であり、高齢者施設職員に対する摂食嚥下機能についての指導の環境整備が必要であることが示唆された。

【キーワード】 誤嚥性肺炎、訪問歯科、摂食嚥下、高齢者施設、ケア移行

## 【はじめに】

誤嚥性肺炎の危険因子として、嚥下機能低下、加齢、感染防御能低下、脳血管疾患や慢性呼吸器疾患等の基礎疾患、認知症、口腔内不衛生など様々な要因があげられる<sup>1)</sup>。誤嚥性肺炎の特徴は、難治性で長期化しやすく、再燃しやすいため、急性感染症ではなく慢性炎症として捉えることの重要性が指摘されており、急性期治療だけにとどまらず生活期での肺炎再発予防が肝要である<sup>2)</sup>。

歯科医療において従来の歯科医療から訪問歯科診療へ移行していくことは、地域包括ケアシステム、地域共生を実現するために必要である。特に誤嚥性肺炎予防に歯科が、口腔ケアおよび摂食嚥下リハの臨床現場に参画することは重要な責務と考えられている<sup>2)3)</sup>。

しかし各々歯科診療所により診療内容の多様性がみられ、とくに摂食機能療法に関しては、積極的に

実施している歯科医院は少ないことが示唆されている<sup>4)</sup>。

そして、今後食支援の研修、指導を行う上で高齢者施設職員の摂食嚥下に対する不安材料や学習意欲の有無を把握する必要があると考えられる。

今回、我々は地域包括ケアシステムの歯科介入に際し、沖縄県内の歯科医院と高齢者施設へ現状把握の目的でアンケート調査をおこなったので報告する。

## 【対象と方法】

- ①2020年7月在籍の沖縄県歯科医師会会員（総会員数354名）を対象にし、歯科医院名を記入しFAXによるアンケート調査をおこなった。アンケート項目概要を表1に示す。
- ②浦添総合病院歯科口腔外科が摂食嚥下指導で介入し、2021年1月に在籍している高齢者施設4か所の

表1 沖縄県歯科医師会会員に対するアンケート内容一部抜粋

Q.1 貴院において当院からの患者の紹介を受けて頂けますか？ はい・ いいえ
Q.2 貴院において車イスの患者は対応可能でしょうか？ はい・ いいえ
Q.3 貴院において癌患者の歯科治療は対応可能でしょうか？ はい・ いいえ
Q.4 貴院において口腔機能低下症患者の管理は可能でしょうか？ はい・ いいえ
Q.5 訪問歯科診療を行っていますか？ はい・ いいえ
Q.6 訪問歯科診療で対応可能な内容をすべて○で囲んで下さい。 1. カリエス歯科治療      2. 抜歯等の外科処置      3. 口腔ケア 4. 経口摂取困難患者の嚥下リハビリ      5. 退院指導カンファレンスへの参加

表2 高齢者施設職員に対するアンケート内容一部抜粋

Q.1 職種 (看護師) (介護職員) (ケアマネージャー) (厨房スタッフ) (その他)
Q.2 経験年数 (1年未満) (1～3年) (3～5年) (5～10年) (10年以上)
Q.3 担当する利用者の飲み込みに関して困ることはありますか？ (よくある) (たまにある) (ない) (担当しないのでわからない)
Q.4 どのようなことで困りますか？<複数回答> (むせる) (食事時の姿勢保持) (食事拒否) (途中で寝る) (時間がかかる) (とろみの濃さ) (摂取量が少ない) (注意がそれる) (食べるのが早い) (その他)
Q.5 食事支援について学習したいことは何ですか？<複数回答> (とろみのつけ方と使い方) (食事姿勢) (声掛け仕方) (嚥下機能について) (ない)

職員96名を対象にし、無記名でGoogle formにてアンケート調査をおこなった。アンケート項目概要を表2に示す。

【対象】 沖縄県内歯科医師会会員 354名  
【結果】 アンケート回答数93名、回答率25%  
回答数 93  
(北部地方4、中部地方45、南部地方38、離島6)

【結果】

①沖縄県歯科医師会会員への病診連携に関するアンケート調査 (表3)

表3 沖縄県歯科医師会会員へのアンケート結果

	北部	中部	南部	離島	合計
当院紹介患者受け入れ可能	3	38	30	2	73 (78.4%)
対応可能な診療内容					
車椅子患者	3	27	23	4	57 (61.2%)
癌患者	1	31	21	3	56 (60.2%)
口腔機能低下症患者	1	18	15	2	36 (38.7%)
訪問歯科診療	1	12	10	0	23 (24.7%)
N = 93					
訪問歯科診療にて対応可能な診療内容	北部	中部	南部	離島	合計
う蝕治療	1	12	10	0	23 (100%)
抜歯	1	12	10	0	23 (100%)
口腔ケア	1	12	10	0	23 (100%)
嚥下リハビリテーション	0	9	2	0	11 (47.8%)
退院時カンファレンス	0	7	1	0	8 (34.7%)
N = 23					

### 1. 当院からの紹介患者の対応について

当院からの紹介患者の受け入れ可能歯科医院は70件（78%）であり、地方別としては北部3件（4%）、中部38件（52%）、南部30件（41%）、離島2件（3%）であった。

### 2. 車椅子患者の対応について

車椅子の患者の受け入れ可能歯科医院は57件（61%）であり、地方別としては北部3件（5%）、中部27件（47%）、南部23件（40%）、離島4件（8%）であった。

### 3. 癌患者対応について

癌患者の歯科治療の受け入れ可能歯科医院は56件（60%）であり地方別としては、北部1件（2%）、中部31件（55%）、南部21件（38%）、離島3件（5%）であった。

### 4. 口腔機能低下症患者の管理について

口腔機能低下症患者の管理可能歯科医院は36件（38%）であり、地方別としては北部1件（3%）、中部18件（50%）、南部15件（42%）、離島2件（5%）であった。

### 5. 訪問歯科診療について

訪問歯科診療可能歯科医院は23件（24%）であり、地方別としては北部1件（5%）、中部12件（57%）南部10件（48%）、離島0件（0%）であった（表3）。

診療内容の内訳では、う蝕治療100%、抜歯100%、口腔ケア100%、嚥下リハ48%（10%/総計）、退院時指導カンファレンスへの参加34%（8%/総計）であった。

### ②高齢者施設職員への食支援に関するアンケート調査

【対象】 高齢者施設4か所の全職員 96名

【結果】 アンケート回答数76名、回答率 79%

#### 1. 対象者の属性

表4に対象者の属性を示す。アンケート回答者76名は、介護士53名（69.7%）、厨房スタッフ7名（9.2%）、看護師6名（7.9%）で経験年数は5～10年の割合が最も多く23.7%であった（表4）。

#### 2. 食事介助時の不安について

“担当する利用者の飲み込みに関して困ることはありますか？”という問いに対しては、“たまにある”との回答が57.9%で、“いいえ”との回答はなかった。職種間で明らかな相違はなかった（表5）。

#### 3. 食事介助時の不安内容について

食事介助をおこなっている職員に“どのようなことで困りますか”という問い（複数選択可）に対して“むせる”との回答が59（84%）、“食事姿勢の保持”が40（64%）、食事拒否が39（56%）、



注意がそれるが0 (0%) であった (図1)。

#### 4. 食支援に関する興味内容

食事介助をおこなっている職員に“食支援について学習したいことは何ですか?” という問い (複数選択可) に対して、“嚥下機能について” との回答が 48 (69%)、“とろみのつけ方、使い方” が 43 (61%)、“食事姿勢” が 38 (54%) であった (図2)。

#### 5. 食事介助時の不安項目と経験年数の関連

食事介助をおこなっている職員のうち“食事時

の姿勢保持”に対して不安がある職員は、ほぼ経験年数とともに減少しているが、“むせる”、“とろみの濃さ”に対しての不安は、経験年数との関連はみられなかった (図3)。

#### 6. 食支援に関して学習したい項目と経験年数の関連

食事介助をおこなっている職員のうち“とろみのつけ方”“嚥下機能について”に関して学習したい職員は、経験年数が上がっても多くみられているが、“声掛け”については経験年数が5年以上経過すると減少していた (図4)。

表4 高齢者施設職員の職種と経験年数に関する内訳

	選択項目	人数 (N=76)	割合 (%)
職種	介護士	53	69.7
	厨房スタッフ	7	9.2
	看護師	6	7.9
	ケアマネージャー	5	6.6
	事務員	4	5.2
	生活相談員	1	1.3
経験年数	1年未満	12	15.8
	1～3年	16	21.1
	3～5年	17	22.4
	5～10年	18	23.7
	10年以上	13	17.1

表5 食事介助の不安に対する職種別の程度

	全体数	よくある	たまにある	いいえ	対応していない
全体	76	26 (34.3)	44 (57.9)	0 (0.0)	6 (7.8)
職種別					
介護士	53	18 (33.9)	33 (62.2)	0 (0.0)	2 (3.9)
厨房スタッフ	7	4 (57.2)	3 (42.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
看護師	6	2 (33.4)	4 (66.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
ケアマネージャー	5	2 (40.0)	3 (60.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
事務員	4	0 (0)	0 (0)	0 (0.0)	4 (100)
生活相談員	1	0 (0)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

N (%)

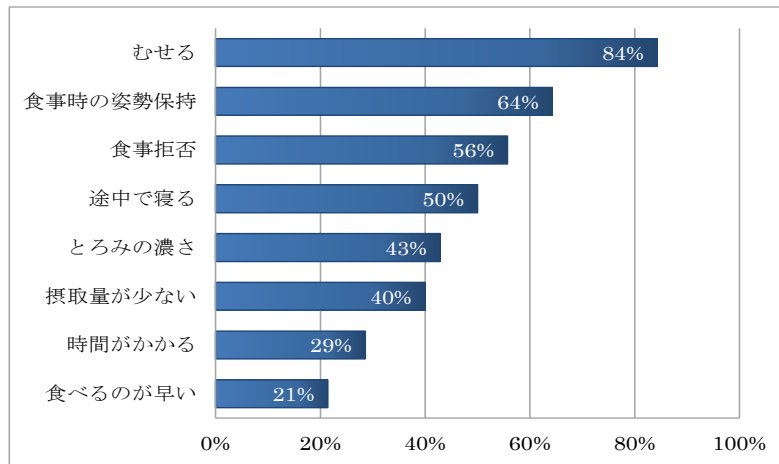


図1 食事介助における不安項目の内訳 (N=70)

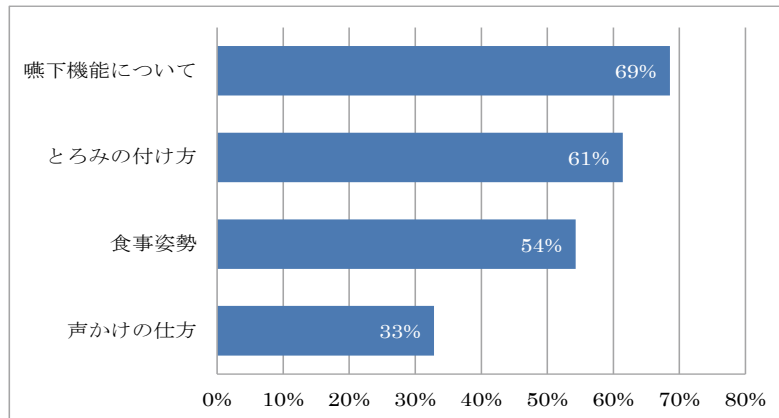


図2 食支援について学習したい項目 (N=70)

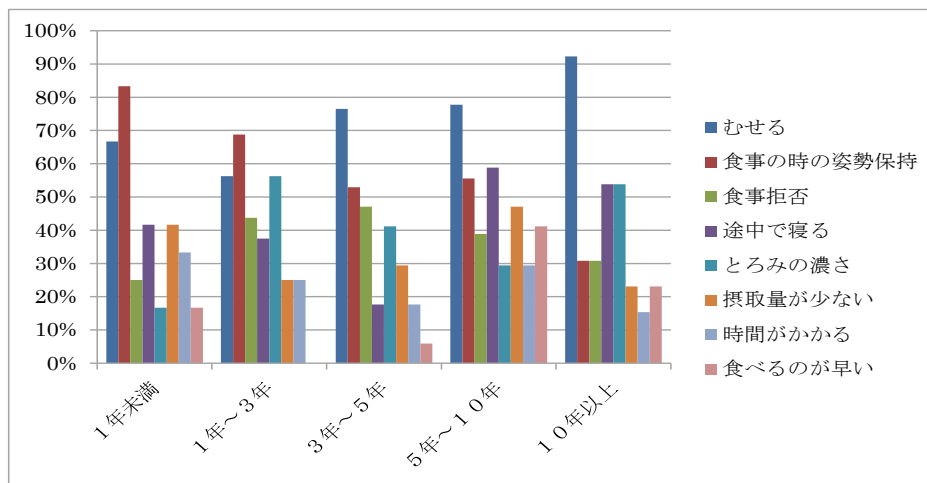


図3 食事介助時の不安項目と経験年数の関連 (N=70)

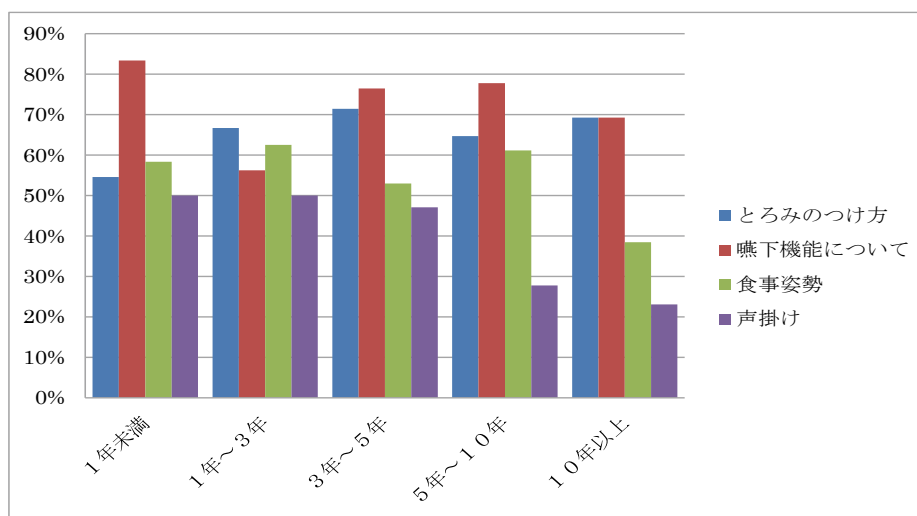


図4 食支援に関して学習したい項目と経験年数の関連

(N=70)

## 【考察】

### ＜病診連携について＞

当院から紹介患者の受け入れが可能かどうかの問いに対して78%の歯科医院から対応可能な返答を得た。対応困難の理由としては、人材不足、基礎疾患を有する患者の治療環境が整っていないことなどであった。

当科からの紹介患者対応困難な歯科医院は、車椅子患者、癌患者、口腔機能低下症患者、訪問歯科治療のすべての対応が困難との回答が58.3%を占めた。当院からの紹介が対応困難な歯科医院の患者層が、基礎疾患を有していない健康な方のため対応困難である可能性が推測された。

車椅子の患者の受け入れ可能な歯科医院は61%であった。現診療所の立地環境や診療室内の動線により対応困難なケースが多いと考えられるが、今後多くの新規診療所はバリアフリー設計となることを期待したい。

癌患者の歯科治療受け入れは60%の歯科医院が可能であった。今後超高齢化社会が進むことにより癌患者が増加傾向になることが予想されるため、歯科医院での癌患者に対する一般歯科治療に伴う後方支援は病院歯科の役割であると考えられる。

口腔機能低下症患者の対応可能な歯科医院は38%であった。口腔機能低下症については、2018

年から保険導入された新しい疾患のため、対応している歯科医院が少ないのが現状である<sup>5)</sup>が、サルコペニア、フレイルと密接な関連があるため誤嚥性肺炎との因果関係が報告されている<sup>6)</sup>。今後多くの歯科医院で対応できるようになると誤嚥性肺炎患者の予防効果が期待できると考える。

訪問歯科診療では23%の歯科医院で対応可能との回答であった。平成29年厚労省医療施設調査では、訪問歯科診療を実施している歯科保険医療機関数に対する割合をみると、全国平均が21.8%であった。都道府県別では長崎県が約40.5%と最も高く、沖縄県が約13.6%で最も低かった<sup>7)</sup>。本調査結果では、平成29年より沖縄県としては増加しているが離島は0%であったため、地域格差があることが示された。

### ＜施設での食支援について＞

他施設職員のアンケート調査報告では、嚥下リハの必要性を感じていた割合は73.9%であった<sup>6)</sup>ことと、本アンケート調査結果において嚥下機能について学びたいとの回答が69%であることではほぼ一致している。高齢者施設での嚥下機能の重要性は認知されているため、定期的に高齢者施設職員向けに講習会や研修会を開催し知識を広めていくことが、離職防止につながることを示されてお

り<sup>8)</sup>、さらに施設職員が歯科医師、歯科衛生士に気軽に相談できる関係を構築することが、誤嚥性肺炎発症を減少させる一助となることに期待したい。

#### <施設職員の経験年数について>

経験年数1年未満では利用者の飲み込みに困ることが少ない傾向がみられたが、介護士を含め多くの職種で経験年数1年未満は研修期間と考えられるため、誤嚥や窒息のリスクの高い嚥下機能障害の利用者の食事介助をおこなっていない可能性が推測される。

食事介助時の“姿勢保持”と“声掛け”の不安が経験年数とともに減少していることは、経験からのスキルアップにより対応力が向上していくことが考えられる。しかし、“むせること”と“とろみの濃さ”に関しての不安は、経験年数が上がっても改善せず、関連して学習したい項目として“とろみのつけ方”と“嚥下機能について”は、経験年数が多くてもあげられているため、施設職員への摂食嚥下指導の重要なポイントとなる可能性が示された。

#### <歯科的アプローチとは>

歯科専門職がかかわる口腔ケアをより専門的な立場から、誤嚥性肺炎の予防法として有効とされる口腔内細菌のコントロールを目的とする「口腔衛生管理」と、誤嚥性肺炎の発症に関係している口腔内の細菌はもとより、誤嚥や低栄養の予防を図る「口腔機能管理」に分けて対応することとし、他職種による口腔ケアとの位置づけを明らかにして、多職種連携による「口腔健康管理」を目指す<sup>9)</sup>。

#### <歯科からの嚥下リハに関する高齢者施設での認識>

施設職員からは利用者の飲み込みに関する不安は多かったが、嚥下リハ可能な歯科医院は約10%であった。施設職員へのアンケート調査で歯科医師が摂食嚥下検査を行えることが知っているかの問いに対し43.9%のみの認識と報告されたことからすると<sup>10)</sup>、今後、歯科医師の嚥下リハへの積極的な参画が期待される場所である。

#### 【結語】

誤嚥性肺炎は難治性であり、再燃しやすい特徴もっているため、急性期病院のみの対応では限界があり、退院後の施設や自宅へのケア移行が重要となる。生活期での誤嚥性肺炎予防は、他職種での介入が必要となるが、歯科的アプローチとしては口腔衛生管理および口腔機能管理があげられ病院歯科口腔外科と地域歯科医院および施設との密接な連携が重要であると考えられる。

#### 【参考文献】

- 1) 安武友美子他：誤嚥性肺炎発症にかかわる要因の検討、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌、21 (2) : 148-152、2011.
- 2) 戸原玄他：摂食機能療法専門歯科医師制度の現状と今後、老年歯学、33 : 319~322、2018.
- 3) 皆川久美子他：歯科医師および歯科衛生士数と歯科診療所で担うことのできる診療内容との関連（平成24年新潟県歯科医療機能連携実態調査より）、口腔衛会誌、69 : 10~18、2019.
- 4) 太田恵未他：摂食嚥下リハビリテーションに関する当県の歯科医院と専門機関における地域連携の現状と課題、障歯誌、40 : 356、2019.
- 5) 山口雄一郎他：口腔機能低下症の検査の実施状況と課題についての検討—一般開業歯科医師を対象としたWeb質問票による調査—、老年歯学、35 (2) : 176-182、2020.
- 6) Mitchell SL et al: The clinical course of advanced dementia. N Engl J Med 361:1529-1538.2009.
- 7) 堀憲郎他：2040年を見据えた歯科ビジョン—令和における歯科医療の姿—、公益社団法人日本歯科医師会 : 12-25、2020.
- 8) 中澤悠里他：嚥下リハビリテーションに対する施設職員の意識調査、老年歯学、35 (2) : 183-190、2020.
- 9) 米山武義、鴨田博司：口腔ケアと誤嚥性肺炎予防、老年歯学、16 (1) : 3-13、2001.
- 10) 深井穂博：わが国の要介護高齢者の歯科医療ニーズと在宅歯科医療推進の短期的目標、ヘルスサイエンス・ヘルスケア、7 : 88~107、2007.

# 介護職員への喀痰吸引等研修事業実施の 振り返りと今後の展望について

安保奈緒、洲鎌京美、玉那覇牧子、肥谷菊乃

## 【要旨】

平成24年度より介護職員等による痰の吸引等の実施のための制度が施行された。地域のニーズ調査からも必要性が高かったため、介護老人保健施設アルカディア（以下アルカディア）でも平成30年度より、研修事業に取り組んできた。これまでの取り組みを振り返り、受講生へのアンケートや各所の連携による自宅退院できた事例を通して、研修事業の意義や必要性の再確認及び連携の重要性を実感できた。今後も質の高い研修事業を継続していきたいと考える。

【キーワード】 喀痰吸引等研修事業 指導看護師 連携

## 【はじめに】

地域における医療・介護等の連携に基づくケアの提供を実現し、看護師の負担軽減を図るとともに、患者・家族のサービスを向上し、介護職員と看護職員の役割分担と連携をより一層進めていく必要があるとの観点より、平成24年度より介護職員等による痰の吸引等の実施のための制度が施行された。また、アルカディアの利用者にも吸引等の行為が必要な医療度の高い利用者が入所しており、施設内でも自宅に帰ってからも、安心してその人らしく過ごしていけるために、吸引等の行為ができる介護職員の育成が必要な状況があった。

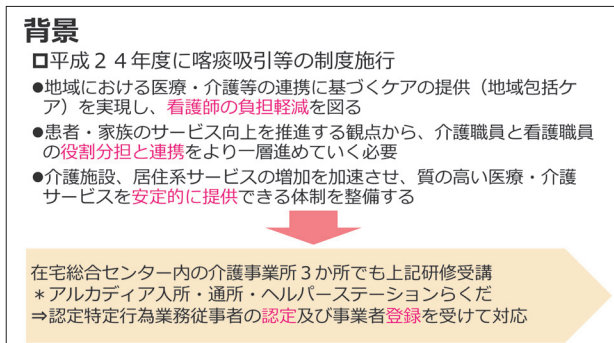


図1 背景1

アルカディアでは、通所・入所・訪問の介護事業所3か所の介護福祉士が、喀痰吸引等の研修を修了し、認定特定行為業務従事者の認定を受けて現場実

践を行っている。

また、平成29年度に立ち上がった『医療介護ネットワーク2025』の中でのニーズ調査からも喀痰吸引等が行える介護職員を増やしていく必要性はあるが、小規模な事業所の実態に応じた研修先がないから、研修派遣しにくい等の話が多く出た。さらには、資格を持つ職員がいないことで、医療度の高い利用者の受け入れができない現状があることが分かった。

そのような背景により、アルカディアでは喀痰吸引等研修事業を実施することとなった。これまでの研修を振り返るとともに、質の高い研修事業にしていくための機会にしたいと考えた。



図2 背景2

**【方法】**

- 1) 過去2年間の研修事業の実績からの分析
- 2) 受講生のアンケート
- 3) 2018年度を受講生の後追い調査
- 4) 病院、研修事業、介護事業所、行政の連携の事例報告

**方法**

1. 過去2年間の研修事業の実績から分析
2. 受講生へのアンケート調査
3. 2018年度を受講生の後追い調査
4. 病院・研修事業・介護事業所・行政の連携の事例

**喀痰吸引等研修事業とは**

講義 + 演習（シミュレーター） + 実地研修 の3つで構成

**1号研修**・・・不特定の者への  
 □腔・鼻腔・気管カニューレの吸引と胃ろう・経鼻経管栄養

**2号研修**・・・不特定の者への  
 □腔・鼻腔の吸引と胃ろう経管栄養

**3号研修**・・・特定の者への特定の行為のみ

**指導看護師研修**・・・介護職員に指導する看護師が受ける講習  
 講義演習や実地研修の指導時に必要となる

図3 方法・喀痰吸引研修事業について

**【結果】**

- 1) 2018年度を受講生は10名（内部3名・外部7名）で、その内訳は、1号研修修了が8名、2号研修修了が2名であった。  
 2019年度を受講生は10名（内部5名・外部5名）で、その内訳は、前年度同様であった。
- 2) 受講生のアンケート結果  
 研修の目標達成は2期とも達成、ある程度達成と回答が100%であった。授業内容については分かりやすかったとの回答が2期とも80%を超えていた。開催日程や時間については、ちょうど良いが100%で、次年度事業所職員に研修受講させたいかについても100%がはいとの回答であった。しかし、実地研修について、2018年度は病院職員との連携が不十分の声が聞かれた。

**結果① 受講生のアンケート（過去2年）**

質問内容/回答	2018年度	2019年度
研修の目的達成度/ 達成・ある程度達成	100%	100%
授業内容について/分かりやすかった	88.9%	80%
普通	11.1%	20%
研修開催日程や時間について/ちょうど良い	100%	100%
次年度事業所職員に研修受講させたいか/はい	100%	100%

【自由記載】 ※課題と思われる項目のみ抽出（概ね良い評価だったため）

**2018年度**  
 ●病院での実地研修時に、対象者の担当看護師同士の申し送りや病院スタッフと指導看護師の連携が不十分と感じた

**2019年度**  
 ●講義の合間の休憩が多く集中が途切れた、早めに終わる配慮してほしい

図4 結果1

3) 2018年度を受講生の後追い調査

喀痰吸引等の特定行為を実施している修了生は10人中7人であった。実施状況や感想としては、取得して良かった。必要度が高くこの資格持っていないとシフトが回らないので重要との声が聞かれた。

一方で、喀痰吸引等を実施していない修了生3人の理由は、現在の事業所に該当者がいない、管理業務に専従している、書類整備が忙しくて追いつかないとの回答であった。

**結果② 2018年度修了生後追い調査（修了生10名中）**

●喀痰吸引等の行為を実施している ➔ **7人**  
 感想：  
 資格取得して良かった。役立てている。  
 施設での必要度が高く、この資格をもっていないとシフトが回らないので重要です。

●喀痰吸引等の行為を実施していない ➔ **3人**  
 理由：  
 該当者がいない  
 管理業務に従事しており必要性がない  
 書類整備が多く、忙しくて追いつかない

図5 結果2

4) 多方面での連携により自宅退院ができた事例の報告

3年目からは、これまでの振り返りを元に、特定の利用者への特定の行為のみを修了することで、短期間で終了できる3号研修も事業拡大し、対応してきた。そのような中で、人工呼吸器を装着した患者さんA氏と、家族の強い希望で病院、研修事業、訪問介護、訪問看護、行政が連携し、自宅退院が実現できた事例を報告する。

A氏は肺炎による入院後より、人工呼吸器装着の状態となった。状態が安定したため、今後の方針を決めるためのカンファレンスで、翌月に退院を目指すことが決定した。介護者が妻のみで、24時間のケアは難しく、4か所の訪問介護事業所が協力して家族と24時間の介護体制を整えることとなった。痰の吸引をする必要があるが、1か所の訪問介護事業所のみ1号研修修了職員が配置されており、残り3か所は3号研修修了職員のみでの配置であった。そこで、入院中に対象となるA氏の吸引実地研修を実施することとなった。

法人内の病棟師長は、指導看護師資格をもっており実地研修の対応がしやすい状況であったこと、患者を主に担当する、つるかめ訪問看護ス



テーションは指導経験が豊富で、同法人内であるために、病棟のバックアップが可能であった。それらの要件が整っていたことで退院までに介護事業所のA氏の担当予定者が3号研修を修了することができた。

それぞれが協力して取り組んだこと、また行政への働きかけで県の担当者も必要性に応じて、迅速に認定証発行の調整をしてくれた結果、予定していた日程でA氏は自宅に退院することができた。



図6 病院・研修事業・介護事業所・行政の連携の事例

**【考察】**

2年目に外部受講生が減っており、現場を離れての受講が難しい事が伺えるため、運営の工夫が必要であると思われる。

講義演習後に筆記試験を行い全受講生が合格できており、アンケートの研修目的達成度からも、法人内指導看護師による指導で獲得すべき重要事項が伝わっていると考えられる。しかし、実地研修での病院との連携不十分との指摘から、お互いを知ることのメリットや理解を深めることの必要性、相互理解が不十分だと分かった。

受講後、喀痰吸引等の業務実施ができていないと回答した3割の受講生の意見より、書類の煩雑さや登録の大変さが出ており、研修以外でも支援の必要性が考えられる。

また、各所が目的の理解や必要性を共有出来たうえで連携が図れたことは、利用者の望む暮らしやその継続に繋がることを再認識できた。目の前の困難と思われる課題に対しても、共有、協働していくことの意義を実感した。

**【結語】**

連携には、共有、共感、協働や共創が大切で、その間にフィードバックを繰り返しながら真の連携につなげていくことが大切である。今回の事例を通して、連携が大きなキーワードになったと実感した。

他にはない、社会医療法人としての研修事業の付加価値として、老健でも病院でも実地研修ができることの強みを改めて実感した。また、病院は地域の介護事業所を知ることで、円滑な退院支援に繋がり、受講生は病院職員との顔の見える関係性の構築に繋がっておりお互いに大きなメリットになると考えられる。

より質の高い研修事業となるために、今後も地域を知り、お互いを知り、受講生の満足度が向上できるように取り組んでいきたい。加えて各所との連携を強めていくことで、患者、利用者のための研修事業の継続を目指していきたい。

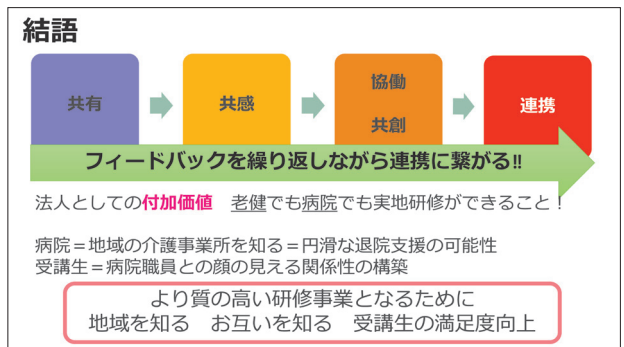


図7 今後の取り組み

# 業績一覽



# 仁愛会学術研究業績一覧 2020年

## 救急集中治療部

1. 米盛輝武<sup>※1</sup>, 佐々木秀章<sup>※1,2</sup>, 梅村武寛<sup>※1,3</sup>,  
山口裕<sup>※1,4</sup>, 豊里尚己<sup>※1,4</sup>, 出口宝<sup>※1,5</sup>, 田場秀樹<sup>※1,6</sup>,  
林峰栄<sup>※1,7</sup>, 中島重良<sup>※1,9</sup>, 寺田泰蔵<sup>※1,9</sup>,  
三戸正人<sup>※1,8</sup>

※1 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部

※2 沖縄赤十字病院

※3 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

※4 沖縄県立中部病院、※5 もとぶ野毛病院

※6 中頭病院、※7 沖縄ERサポート

※8 ハートライフ病院、※9 琉球大学

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部にお  
ける ICT を活用した入院調整の試み  
第48回日本救急医学会総会・学術集会  
2020年11月

2. 米盛輝武, 那須道高, 北原祐介, 加藤雅也,  
窪田圭志, 北井勇也, 高橋公子, 梅谷一公,  
勝田充重, 小出俊一  
早期医療介入と早期根本治療のために～ICTを  
最大限に活用した病院前救急診療の取り組み～  
第48回日本救急医学会総会・学術集会  
2020年11月

3. 濱崎佐和子, 米盛輝武, 那須道高, 北原祐介,  
加藤雅也, 窪田圭志, 北井勇也, 高橋公子,  
梅谷一公, 小出俊一  
大腿骨転子部骨折骨折後に出血性ショックとな  
った右内外側大腿回旋動脈損傷  
第48回日本救急医学会総会・学術集会  
2020年11月

4. 勝田充重, 與儀達朗, 丸山晃慶, 梅谷一公,  
高橋公子, 北井勇也, 窪田圭志, 加藤雅也,  
北原祐介, 那須道高, 米盛輝武  
3mからの墜落外傷に伴う腹腔内臓動脈解離の1  
例  
第48回日本救急医学会総会・学術集会  
2020年11月

5. 北井勇也, 米盛輝武, 那須道高, 加藤雅也,  
北原祐介, 窪田圭志, 高橋公子, 梅谷一公,  
小出俊一, 勝田充重, 丸山晃慶  
救急外来での車中診察で診断までに複数回受診  
を要した疾患と患者背景の調査  
第48回日本救急医学会総会・学術集会  
2020年11月

6. 岩永航  
ECMO初心者卒業のためのノウハウ  
第42回日本呼吸療法医学会学術集会  
2020年12月

7. 岩永航  
片岡惇<sup>※</sup>  
※練馬光が丘病院  
短時間で分かる最新エビデンス集-人工呼吸関  
連-  
第42回日本呼吸療法医学会学術集会  
2020年12月

## 呼吸器センター (内科)

1. 名嘉村敬, 梶浦耕一郎, 稲生真夕, 谷口春樹<sup>※</sup>  
福本泰三<sup>※</sup>, 石垣昌伸  
※呼吸器センター外科  
浦添総合病院におけるガイドシース併用気管支  
腔内超音波断層法 (EBUS-GS) の検討  
沖縄医学会雑誌 0911-5897 Vol.58 No.4 p.58-61  
2020年7月

## 呼吸器センター (外科)

1. 梶浦耕一郎  
対側肺の第2癌に対して選択的な気管支ブロッ  
クによる肺切除  
第37回日本呼吸器外科学会学術集会 (Web)  
2020年9月

- 取材：谷口春樹  
今こそ受けよう！がん検診 CASE1.肺がん  
広報うらそえ 730号（10月号）  
2020年10月
- 谷口春樹，菅田一貴，梶浦耕一郎，福本泰三，  
名嘉村敬，石垣昌伸  
プラチナ製剤併用療法+PD-1阻害剤治療後に外  
科切除を行った左下葉肺腺癌の1例  
第61回日本肺癌学会学術集会  
2020年11月

#### 循環器センター（循環器内科）

- 上原裕規  
コメンテーター  
第30回日本心血管インターベンション治療学会  
CVIT 九州・沖縄地方会  
2020年1月
- 中根啓貴，儀間義勝，千葉卓，名護元志，  
幡野翔，知念敏也，仲村健太郎，宮城直人，  
島尻正紀，上原裕規  
孤立性冠動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行し  
た1症例  
第30回日本心血管インターベンション治療学会  
CVIT 九州・沖縄地方会  
2020年1月
- 幡野翔，上原裕規，島尻正紀，宮城直人，  
仲村健太郎，知念敏也，名護元志，千葉卓，  
中根啓貴，儀間義勝  
エキシマレーザーを用いて血行再建に成功した  
慢性完全閉塞の一例  
第30回日本心血管インターベンション治療学会  
CVIT 九州・沖縄地方会  
2020年1月
- 中根啓貴，儀間義勝，千葉卓，名護元志，  
幡野翔，知念敏也，仲村健太郎，宮城直人，  
島尻正紀，上原裕規  
両鼠径アプローチが困難な右浅大腿動脈の慢性

完全閉塞病変に対して、後脛骨動脈アプローチ  
で治療に成功した1例  
第328回日本内科学会九州地方会  
2020年1月

- 仲村健太郎  
心房細動の早期検出と適正な抗凝固療法とは？  
～検脈・心電図検査の重要性～  
Web Seminar 地域で診る不整脈セミナー 第  
一三共主催  
2020年2月
- 仲村健太郎  
デバイス再植込み  
不整脈治療デバイスのリード・マネジメント  
ISBN:978-4-260-04129-4 p.161-163  
2020年6月
- 仲村健太郎，脇田垂由美  
【不整脈治療の最新デバイステクノロジーとリ  
ードマネジメント】遠隔モニタリング デバイ  
ス管理  
循環器ジャーナル 2432-3284 p.542-549  
2020年7月

#### 循環器センター（心臓血管外科）

- 國吉幸男  
座長  
DS NET 沖縄県医療連携WEBセミナー  
～心房細動～  
2020年12月

#### 消化器病センター（外科）

- Shinichiro Kameyama, Haruka Motonari,  
Tomonari Ishimine, Tsutomu Isa  
Successful treatment with conversion  
surgery following chemoradiotherapy for  
unresectable invasive intraductal papillary  
mucinous neoplasm

Clinical Journal of Gastroenterology  
1865-7265 Vol.13 No.4 p.579-584  
2020年1月

2. 佐村博範

胃がん・大腸がんの術後障害と対応  
がん診療連携拠点病院研修会 手術の後遺症への対応に関する研修会  
2020年2月

3. 伊禮俊充, 佐村博範, 谷口春樹, 宇都宮貴史, 原田哲嗣, 山城直嗣, 本成 永, 堀 義城, 古波倉史子, 新垣淳也, 長嶺義哲, 亀山眞一郎, 梶浦耕一郎, 伊志嶺朝成  
横隔膜直接浸潤を伴う直腸癌肝転移再発に対し腹腔鏡下再肝切除および横隔膜合併切除を施行した1例  
第79回沖縄県外科会  
2020年2月

4. Hironori Samura, Eiji Oki<sup>\*1</sup>, Hiroshi Okamura<sup>\*2</sup>, Takefumi Yoshida<sup>\*3</sup>, Seiichiro Kai<sup>\*4</sup>, Kazuma Kobayashi<sup>\*5</sup>, Tatsuya Kinjyo<sup>\*6</sup>, Shinichiro Mori<sup>\*7</sup>, Tetsuo Tohyama<sup>\*8</sup>, Kippei Ohgaki<sup>\*9</sup>, Hirofumi Kawanaka<sup>\*10</sup>, Akitaka Makiyama<sup>\*11</sup>, Norio Ureshino<sup>\*12,13</sup>, Masahito Kotaka<sup>\*14</sup>, Takayuki Shimose<sup>\*15</sup>, Koji Ando<sup>\*1</sup>, Hiroshi Saeki<sup>\*16</sup>, Hideo Baba<sup>\*17</sup>, Yoshihiko Maehara<sup>\*9</sup>, Masaki Mori<sup>\*1</sup>  
\*1 九州大学大学院, \*2 鹿児島厚生連病院, \*3 社会保険田川病院, \*4 中津市民病院, \*5 長崎大学大学院移植消化器外科, \*6 琉球大学医学部附属病院第一外科, \*7 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, \*8 中頭病院, \*9 九州中央病院, \*10 別府医療センター, \*11 JCHO九州病院, \*12 岐阜大学病院がんセンター, \*13 佐賀県医療センター好生館, \*14 佐野病院, \*15 九州臨床研究支援センター, \*16 群馬大学大学院, \*17 熊本大学大学院

A phase I/II study of S-1 and irinotecan (IRIS) combined with cetuximab in patients with RAS wild-type metastatic colorectal

cancer (KSCC1401)  
Cancer Chemotherapy and Pharmacology  
ISSN:1432-0843 Vol.86 No.2 p.285-294  
2020年7月

5. 亀山眞一郎, 宇都宮貴史, 原田哲嗣, 本成 永, 伊禮俊充, 伊志嶺朝成  
糖尿病患者に対する膵頭十二指腸切除術の術後短期成績  
第120回日本外科学会定期学術集会  
2020年8月
6. 伊禮俊充, 本成永, 亀山眞一郎, 松崎晶子, 伊志嶺朝成  
アルコール性肝炎を背景とし診断に難渋した肝内胆管系腫瘍および大腸癌肝転移併存の1例  
第56回日本胆道学会学術集会  
2020年10月

7. 鈴木裕紀子, 亀山眞一郎, 宇都宮貴史, 原田哲嗣, 山城直嗣, 本成 永, 堀 義城, 伊禮俊充, 新垣淳也, 佐村博範, 伊志嶺朝成, 長嶺義哲, 古波倉史子  
糖尿病併存急性胆嚢炎症例に対する胆嚢摘出術の術後短期成績  
第82回日本臨床外科学会総会  
2020年10月

8. 松下和敏, 新垣淳也, 佐村博範, 古波倉史子, 堀 義城, 菅田一貴, 谷口春樹, 長嶺義哲, 本成 永, 亀山眞一郎, 伊志嶺朝成, 伊佐 勉, 宮里恵子<sup>\*1</sup>, 金城達也<sup>\*2</sup>, 西巻 正<sup>\*2</sup>  
\*1 浦添総合病院乳腺外科, \*2 琉球大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
直腸癌手術に伴う一時的回腸ストーマ造設術関連合併症の検討  
琉球医学会誌 1346-888X Vol.39 No.1-4 p.15-20  
2020年11月

消化器病センター (内科)

1. 金城福則

- コメンテーター  
九州IBD up-to-date Meeting インフリキシマブ  
BS点滴静注用100mg 「NK」  
2020年1月
2. 金城福則  
Session 2.座長  
沖縄消化管疾患講演会  
2020年2月
3. 金城福則  
講義「炎症性腸疾患診療における感染性腸炎の  
内視鏡診断とその意義」  
弘前大学医学部3年次講義（ビデオ）  
2020年6月
4. 金城福則  
胃がん内視鏡検査と経鼻内視鏡 内視鏡検査精  
度向上を目指して  
沖縄消化器内視鏡会 令和2年度総会特別講演  
会  
2020年7月
5. 金城福則  
胃内視鏡検診を行うにあたって 特に、2016年  
2月の我が国の指針改正による対策型胃内視鏡  
検診の精度管理向上を目指して（がん検診充実  
強化促進事業）  
令和2年度沖縄消化器内視鏡会総会特別講演  
会・令和2年度沖縄県消化器がん検診研究会特  
別講演会  
2020年7月
6. 金城福則  
講演2 座長  
ゼルヤンツ潰瘍性大腸炎 適正使用講演会(Web)  
2020年9月
7. 金城福則  
アドバイザー  
EAファーマ株式会社 注腸フォーム製剤監修  
2020年10月
8. 金城福則  
潰瘍性大腸炎診療の現状について  
(株)JIMRO社内研修会（Web）  
2020年10月
9. 金城福則  
特別講演・座長  
第28回沖縄大腸疾患研究会  
2020年10月
10. 金城福則  
「糞線虫症」  
上部消化管内視鏡診断アトラス ISBN:978-4-  
260-04155-3 p.196-197  
2020年10月
11. 金城福則  
「糞線虫症、イソスポーラ症」  
下部消化管内視鏡診断アトラス ISBN:978-4-  
260-04156-0 p.10-11  
2020年10月
12. 金城福則  
潰瘍性大腸炎診療の現状について  
沖縄消化器内視鏡会2020年例会（Web）  
2020年10月
13. 金城福則  
わが国のクローン病の現状と基本的な治療の考  
え方  
マイランEPD合同会社Web社内勉強会  
2020年11月
14. 金城福則  
座長  
炎症性腸疾患懇話会in沖縄  
2020年11月
15. 松川しのぶ, 瑞慶山隆太, 普久原朝史, 高木亮,  
小橋川嘉泉, 内間庸文, 仲吉朝邦, 金城福則  
PPI内服中止にて過形成ポリープと胃底腺ポリ  
ープの縮小をみとめた1例  
第116回日本消化器病学会九州支部例会・第110

回日本消化器内視鏡学会九州支部例会  
2020年12月

16. 金城福則, 瑞慶山隆太, 寺本彰, 普久原朝史, 松川しのぶ, 高木 亮, 小橋川嘉泉, 内間庸文, 仲吉朝邦, 古波倉史子  
**便秘の精査を契機に内視鏡的に診断された初期大腸憩室炎が疑われた1例**  
第116回日本消化器病学会九州支部例会・第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会  
2020年12月
17. 瑞慶山隆太, 高木亮, 小橋川嘉泉, 寺本彰, 普久原朝史, 松川しのぶ, 内間庸文, 仲吉朝邦, 金城福則, 伊志嶺朝成  
**胃-被包化膿壊死(WON)間のプラスチックステントが離断したアルコール性重症膵炎後の1例**  
第116回日本消化器病学会九州支部例会・第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会  
2020年12月
18. 祐森敦士, 寺本彰, 瑞慶山隆太, 普久原朝史, 松川しのぶ, 高木亮, 小橋川嘉泉, 内間庸文, 仲吉朝邦, 金城福則  
**発作性心房細動に対するカテーテルアブレーション後に急性胃拡張を発症した1例**  
第116回日本消化器病学会九州支部例会・第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会  
2020年12月
19. 金城福則  
**総括**  
沖縄消化器内視鏡学会例会 (Web)  
2020年12月
20. 内間庸文  
**研修医発表 大腸2: 座長**  
第116回日本消化器病学会九州支部例会・第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会  
2020年12月

**糖尿病センター**

1. 難波豊隆, 愛知佳奈, 喜瀬道子, 石川和夫  
**サルコイドーシスによる中枢性尿崩症診断後、約1年の経過でDDAVPを中止しえた1例**  
第20回日本内分泌学会九州支部学術集会  
2020/9/18~2020/10/4 (Web開催)
2. 水本小百合, 難波豊隆, 愛知佳奈, 喜瀬道子, 石川和夫  
**低栄養により著明なACTH、コルチゾール高値を示した偽性クッシング症候群の一例**  
第20回日本内分泌学会九州支部学術集会  
2020/9/18~2020/10/4 (Web開催)
3. 愛知佳奈, 難波豊隆, 喜瀬道子, 石川和夫  
**アリピラゾールの増量を契機に糖尿病性ケトアシドーシス至った2型糖尿病の1例**  
第63回日本糖尿病学会年次学術集会  
2020/10/5~2020/10/16 (Web開催)

**乳腺センター**

1. 宮里恵子, 玉城研太郎<sup>\*1</sup>, 城間寛<sup>\*2</sup>, 川端勉<sup>\*3</sup>  
※1 那覇西クリニック ※2 南部病院  
※3 国立病院機構沖縄病院外科  
**沖縄県女性外科医の諸問題に迫る 明るい女性外科医療の未来のために**  
第120回日本外科学会定期学術集会  
2020年8月
2. 宮里恵子, 蔵下要, 新里藍  
**当院におけるBRACAnalysis診断システム運用の状況**  
第26回遺伝性腫瘍学会  
2020年8月
3. 宮里恵子, 蔵下要, 新里藍  
**乳癌化学療法有害事によるレジメン終了に他科コンサルトが及ぼす影響について**

第28回日本乳癌学会  
2020年10月

脳血管・脊髄センター

1. 銘莉晋  
脳神経外科の立場から  
令和元年度沖縄県認知症疾患医療センターシン  
ポジウム  
2020年2月
2. 原國毅  
『腰椎固定術、ジンマーインプラント』の工夫  
第10回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研究会  
2020年7月
3. 宮平太  
未指摘糖尿病による動眼神経麻痺との鑑別を要  
した橋ラクナ梗塞によるMLF症候群と診断さ  
れた一例  
第130回沖縄県医師会医学会総会  
2020年12月

形成外科

1. 安田路規, 玉城秀行  
鼠径部に生じた表在性血管粘液腫の一例  
第34回神戸形成外科集談会  
2020年11月
2. 玉城秀行, 安田路規, 丸山和典  
ハブ咬傷により示指切断に至った1例  
第34回神戸形成外科集談会  
2020年11月

歯科口腔外科

1. 小山宏樹, 宮良久美子, 梶浦由加里,  
河野俊広, 中村博幸\*  
※琉球大学歯科口腔外科  
当院における訪問歯科医院との病診連携の取り

組み-誤嚥性肺炎患者等の退院後の歯科治療に  
関するアンケート結果より  
第34回沖縄県歯科医学会  
2020年11月

整形外科

1. 石塚光太郎  
欧州における肉離れに対するチーム医療  
月刊スポーツメディスン 0916-359X No.218  
2・3月合併号 p.13-17  
2020年3月

病院総合内科

1. 鈴木智晴, Hiroyuki Kobarashi<sup>\*1</sup>,  
Yasuharu Tokuda<sup>\*2</sup>  
※1 伊勢崎市民病院 ※2 群星沖縄臨床研修センター  
The catcher in the signs. Obvious but missed  
diagnostic clues of cushing's syndrome.  
SHM Annual Conference : Hospital Medicine  
2020  
2020年4月
2. 栗原健, 金城俊一, 玉城聖佳\*, 浜元善仁\*  
※浦添総合病院 薬剤部  
浦添総合病院版ポリファーマシーチーム 医療  
連携の効果の検討  
沖縄医学会雑誌 0911-5897 Vol.58 No.4 p.9-12  
2020年7月
3. 鈴木智晴  
ワークショップ2 明日から使える診断エラー論  
文 year in review & あなたもきっとできる論  
文作成  
第21回日本病院総合診療医学会学術総会  
2020年9月
4. 栗原健, 加藤良太郎<sup>\*1</sup>, 榎本貴一<sup>\*2</sup>,  
木村泰<sup>\*2</sup>, 綿貫聡<sup>\*3</sup>  
※1 板橋中央総合病院 ※2 練馬光が丘病院

- ※3 東京都立多摩総合医療センター  
**診断エラーを知り、一緒に考えを深めていきませんか**  
 第15回医療の質・安全学会学術集会  
 2020年11月
5. 栗原健, 徳田安春<sup>\*1</sup>, 長尾能雅<sup>\*2</sup>  
 ※1 群星沖縄臨床研修センター ※2 名古屋大学大学院  
 医学系研究科 医療の質・患者安全管理学  
**研修医のインシデントレポート報告行動についての全国調査**  
 第15回医療の質・安全学会学術集会  
 2020年11月
6. 栗原健, 榎本貴一<sup>\*1</sup>, 木村泰<sup>\*1</sup>, 内海真希<sup>\*2</sup>  
 ※1 練馬光が丘病院 ※2 トヨタ記念病院  
**私たちが患者安全・質改善のキャリアを歩む理由**  
 第15回医療の質・安全学会学術集会  
 2020年11月
7. 栗原健  
**病院総合内科が担う患者安全・医療の質活動**  
**ケアの移行と統合の可能性を探る (ジェネラリスト教育コンソーシアムVol.15) 974-4-904865-56-9 p.187-190**  
 2020年12月
- p.3440-3444  
 2020年10月
2. Hirata Y<sup>\*1</sup>, Higuchi K<sup>\*2</sup>, Tamashiro K<sup>\*3</sup>,  
 Koja K<sup>\*3</sup>, Yasutomi Y<sup>\*4</sup>, Matsuzaki A,  
 Yoshimi N<sup>\*4</sup>  
 ※1 University of Ryukyus Hospital ※2 Okinawa  
 Kyodo Hospital ※3 Okinawa Chubu Hospital ※4  
 Okinawa Red Cross Hospital  
**Application of the Milan System for Reporting  
 Salivary Gland Cytopathology: A 10-Year  
 Experience in a Single Japanese Institution**  
 Acta Cytologica 1938-2650 Vol.62 No.2 p.123-  
 131  
 2020年10月(Electronic Publication Date)
3. 西平紀介<sup>\*1</sup>, 青山肇<sup>\*2</sup>, 喜納はるみ<sup>\*3</sup>, 松崎晶子,  
 比嘉盛治<sup>\*4</sup>, 松本裕文<sup>\*5</sup>, 崎山三千代<sup>\*6</sup>,  
 樋口佳代子<sup>\*7</sup>, 瑞慶覧洋子<sup>\*1</sup>, 加留部謙之輔<sup>\*8</sup>  
 ※1 琉球大学病院病理部 ※2 ハートライフ病院病理診  
 断科 ※3 沖縄県健康づくり財団健診部検査課 ※4 中  
 頭病院病理検査 ※5 中頭病院病理診断科 ※6 那覇市  
 医師会生活習慣病検診センター検査部 ※7 沖縄協同  
 病院病理診断科 ※8 琉球大学大学院医学研究科細胞  
 病理学  
**コロナ禍における沖縄県でのweb症例検討会開  
 催の試み**  
 第59回 日本臨床細胞学会秋期大会  
 2020年11月

**病理診断科**

1. Nakamura H<sup>\*1</sup>, Tateyama M<sup>\*1</sup>, Tasato D<sup>\*2</sup>,  
 Haranaga S<sup>\*1</sup>, Higa F<sup>\*3</sup>, Matsuzaki A,  
 Yoshimi N<sup>\*4</sup>, Fujita J<sup>\*1</sup>  
 ※1 University of the Ryukyus Graduate of School of  
 Medicine ※2 Hokubu Chiku Ishikai Hospital  
 ※3 National Hospital Organization Okinawa National  
 Hospita ※4 Okinawa Red Cross Hospital  
**Human immunodeficiency virus-associated  
 pulmonary sarcoidosis in a Japanese man  
 as a manifestation of immune reconstitution  
 inflammatory syndrome**  
 Clinical case report 2050-0904 Vol.8 No.12

**麻酔科**

1. 藤岡照久, 新里勇人  
**T A V I 非実施施設で大腿骨骨折の患者の手術  
 にT A V I を先行させるのがいかに困難である  
 かわかった症例**  
 第25回日本心臓血管麻酔学会学術大会  
 2020年9月

**栄養管理サービス部**

1. 安里あきの, 仲間清美  
入退院支援センターにおける管理栄養士の関わり  
第23回日本病態栄養学会年次学術集会  
2020年1月

**ME科**

1. 脇田亜由美  
How to use the remote monitoring system?  
第8回瀬戸内植込みデバイスカンファレンス  
2020年1月
2. 脇田亜由美, 花城緑, 仲村健太郎, 千葉卓,  
上原裕規  
SOPを用いた遠隔モニタリングアラート管理  
SOPによりアラート報告数は減少し得る  
第12回植え込みデバイス関連冬季大会  
2020年2月
3. 脇田亜由美, 仲村健太郎  
【不整脈治療の最新デバイステクノロジーとリ  
ードマネジメント】遠隔モニタリング デバイ  
ス管理  
循環器ジャーナル 2432-3284 vol.68 No.3 p.542-  
549  
2020年7月

**薬剤部**

1. 浜元善仁, 原國政直, 平田やよい, 東千夏,  
益田菜月, 親富祖翔太郎, 翁長真一郎  
当院における抗インフルエンザ薬曝露後予防投  
与の実態調査  
第35回日本環境感染学会総会・学術集会  
2020年2月
2. 益田菜月, 平田やよい, 浜元善仁  
当院における LVFX 内服の使用状況調査

第35回日本環境感染学会総会・学術集会  
2020年2月

3. 大城研, 仲本明希, 益田菜月, 東千夏,  
長嶺桃子, 浜元善仁  
持参薬の入院から処方までに時間がかかっている!  
第26回仁愛会業務改善活動発表会  
2020年2月
4. 翁長真一郎, 浜元善仁, 宮里弥篤, 川上博瀬  
調剤テクニシャンの導入により薬剤師の対物業  
務効率化と対人業務促進へ  
Pharma Scope (ファーマスコープ)  
第31号p.15-16 ※田辺三菱製薬株式会社発行  
2020年3月
5. 浜元善仁, 平田やよい, 東千夏, 益田菜月,  
親富祖翔太郎, 岸本卓, 翁長真一郎  
末梢挿入中心静脈カテーテルからのVCMトラ  
フ値採血により、高値を示した1症例  
第30回日本医療薬学会年会  
2020年10月
6. 安里祐美, 平田やよい, 浜元善仁, 翁長真一郎  
退院に向けた服薬自己管理への取り組み  
第30回日本医療薬学会年会  
2020年10月
7. 鳥袋優花, 浜元善仁, 翁長真一郎  
在宅に繋ぐために改めて薬薬連携の重要性を感じた1症例について  
第30回日本医療薬学会年会  
2020年10月
8. 翁長真一郎  
座長  
Pharmacist Ve-Seminar  
2020年11月
9. 宮里弥篤, 安丸史織\*  
※ 友愛医療センター  
地区基幹病院間で進めるフォーミュラリ〜沖縄



3病院連携を礎に～  
PharmacistVe-Seminar  
2020年11月

10. 宮里弥篤, 安丸史織<sup>\*</sup>  
※ 友愛医療センター  
地区基幹病院間で進めるフォーミュラリ～沖縄  
3病院連携を礎に～  
Advanced Pharmacist-Seminar in九州  
2020年12月

**リハビリテーション部**

- 立和名麻美, 野里美江子, 中松典子  
皮質下性失語における発語と書字障害の特徴について  
第9回日本語聴覚士協会九州地区学術集会  
2020年1月
- 真謝絵里子, 野里美江子, 中松典子,  
立和名麻美  
当院におけるSTの役割・VE（嚥下内視鏡検査）の活用  
第9回日本語聴覚士協会九州地区学術集会  
2020年1月
- 上原千絵美, 亀山成子, 池宮城夢  
周術期リハビリテーションチームによる大腸癌術後在院日数への有効性の検討  
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会  
2020年8月
- 池宮城夢, 亀山成子, 上原千絵美  
術後早期回復支援策としてのがん周術期チームの有効性の検討  
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会  
2020年8月

**臨床検査部**

- 田中彩奈, 栗国徳幸, 渡辺淳之介,

山野健太郎, 手登根稔  
全自動臨床検査システムSTACIAを用いた血中アルコール濃度測定の基礎的検討  
第69回 日本医学検査学会  
2020年9月

**病理検査科**

- 寺尾優紀, 上地英朗, 長倉秀城, 武島由香,  
當間優生, 知念 広, 上原美帆, 玉城智子  
肺カルチノイドを通じてダブルチェックの重要性を再認識した一例  
第40回沖縄県臨床細胞学会総会・学術集会  
2020年2月
- 長倉秀城  
座長  
第40回沖縄県臨床細胞学会総会・学術集会  
2020年2月

**健診看護課**

- 佐久川育子, 城間紀子, 田口里美, 上原夕乃,  
石川実, 小島正久  
浦添総合病院健診センター受診者の肥満・メタボリックシンドロームの状況～壮年期男性の1年後～  
第23回日本病態栄養学会年次学術集会  
2020年1月

# 仁愛会学術研究業績一覧 2021年

## 救命救急センター（救急集中治療部）

### 1. 那須道高

4つの権利を尊重するためにできること

わたしたちはこう伝えています；臓器提供に関する意思を尊重するための医療者向けガイドブック p.16-17

2021年1月

### 2. 那須道高, 米盛輝武, 儀間辰二, 仲吉朝邦

院外心停止患者へのECPR導入におけるドクターカーの効果

社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.19

2021年3月

### 3. 岩永航

【パネルディスカッション2: COVID-19 肺炎の人工呼吸】 2-1: P-SILI を意識した当院のCOVID-19 人工呼吸管理プロトコール

第21回日本呼吸器療法学会医学会学術集会

2021年7月

### 4. 岩永航

Determination of Brain death/Death by neurologic Criteria.The World Brain Death Project 脳死診断の世界的コンセンサス Brain death/Death by neurologic Criteriaとは 本コンセンサス作成の背景について解説する

日本集中治療医学会雑誌 1340-7988 Vol.28

Suppl.2 p.192

2021年9月

### 5. 岩永航

【教育講演10】 COVID-19 パンデミックを乗り越えるための VV-ECMO マスター必須編

日本蘇生学会第40回大会

2021年10月

### 6. 高橋公子, 那須道高, 三輪弥生\*, 米盛輝武

\*千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学

当院の重症COVID-19患者家族ケアの取り組みに対する患者、家族のニーズの調査

第49回日本救急医学会総会・学術集会

2021年11月

### 7. 那須道高, 高橋公子, 北原佑介, 米盛輝武

重症 COVID-19 病棟への遠隔モニタリングシステムの導入

第49回日本救急医学会総会・学術集会

2021年11月

### 8. 米盛輝武, 梅村武寛\*1, 佐々木秀明\*2

\*1 琉球大学救急医学講座 \*2 沖縄赤十字病院救急部

重症 COVID-19 病棟への遠隔モニタリングシステムの導入

第49回日本救急医学会総会・学術集会

2021年11月

### 9. 米盛輝武, 岩永航, 儀間辰二, 伊良波美里,

中村祐太, 崎浜秀, 都丸和佳乃, 比嘉智将, 大城剛, 西銘麗香, 渡慶次泰輝, 島袋さおり, 梅谷一公, 波止綾子, 梅村武寛\*

\*琉球大学大学院医学研究科救急医学講座

【シンポジウム】沖縄県ドクターヘリにおけるICTの活用～航空医療とICTの連携～

第28回日本航空医療学会総会

2021年11月

### 10. 米盛輝武, 儀間辰二, 伊良波美里, 中村祐太,

崎浜秀, 都丸和佳乃, 比嘉智将, 岩永航, 波止綾子, 梅谷一公, 西銘麗香, 大城剛, 島袋さおり, 渡慶次泰輝, 梅村武寛\*

\*琉球大学大学院医学研究科救急医学講座

【シンポジウム】沖縄県における離島からのCOVID-19患者空路搬送の経験21例から

第28回日本航空医療学会総会

2021年11月

### 11. 米盛輝武, 岩永航, 波止綾子, 儀間辰二,

伊良波美里, 中村祐太, 崎浜秀, 都丸和佳乃,

比嘉智将, 大城剛, 西銘麗香, 渡慶次泰輝,  
島袋さおり, 梅谷一公, 梅村武寛\*

※琉球大学大学院医学研究科救急医学講座

【パネルディスカッション】消防防災ヘリ未導  
入最後の1県「おきなわ」の苦悩  
第28回日本航空医療学会総会  
2021年11月

12. 米盛輝武

一般演題1: COVID-19 座長  
第28回日本航空医療学会総会  
2021年11月

13. 米盛輝武, 梅村武寛\*<sup>1</sup>, 佐々木秀明\*<sup>2</sup>

※1 琉球大学救急医学講座 ※2 沖縄赤十字病院救急部

新型コロナウイルス対策「タテ」の連携「ヨ  
コ」の連携～全体を俯瞰した Operation にお  
ける救急医の関わり～  
第28回日本航空医療学会総会  
2021年11月

14. 米盛輝武

病院前救急診療における多機関連携～ミッショ  
ンコントロールセンターの必要性～  
第16回日本病院前救急診療医学会・学術集会  
2021年11月

呼吸器センター (外科)

1. 谷口春樹, 菅田一貴, 梶浦耕一郎, 福本泰三,  
名嘉村敬, 石垣昌伸, 松崎晶子  
肺気腫を伴う続発性自然気胸手術症例の検討  
日本呼吸器外科学会雑誌 0919-0945 Vol.35 No.3  
p.MO45-4  
2021年5月

2. 梶浦 耕一郎, 谷口春樹, 菅田一貴, 福本泰三  
肺葉切除時の術中対側気胸と縦隔気腫の1例  
日本呼吸器外科学会雑誌 0919-0945 Vol.35 No.3  
p.MO34-4  
2021年5月

3. 谷口春樹, 菅田一貴, 梶浦耕一郎, 福本泰三,  
名嘉村敬, 石垣昌伸  
右用ダブルルーメンチューブを使用した左肺切  
除症例の検討  
第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会  
2021年6月

4. 谷口春樹  
司会  
呼吸器外科手術手技オンライン講演会: 主催  
中外製薬  
2021年7月

5. 梶浦耕一郎  
特別講演 司会  
呼吸器外科手術手技オンライン講演会: 主催  
中外製薬  
2021年7月

6. 谷口春樹, 梶浦耕一郎, 福本泰三, 名嘉村敬,  
石垣昌伸  
胸部食道癌による気管上部狭窄に対してステ  
ント留置と気管皮膚瘻形成を行った1例  
第75回日本食道学会学術集会  
2021年9月

7. 谷口春樹, 梶浦耕一郎, 福本泰三, 名嘉村敬,  
石垣昌伸, 岩田啓芳\*, 植田真一郎\*  
※琉球大学医学部臨床薬理学  
肺悪性腫瘍の解剖学的肺切除周術期における超  
音波による横隔膜移動距離と肺活量の変化量の  
関係性  
第74回日本胸部外科学会定期学術集会  
2021年10月

呼吸器センター (内科)

1. 名嘉村敬  
【肺炎診療のピットフォール-COVID-19から肺  
炎ミミックまで】感染性肺炎と紛らわしい病態  
肺癌、癌性リンパ管症、悪性リンパ腫、閉塞  
性肺炎

総合診療 2188-8051 Vol.31 No.2 p.203-207  
2021年2月

2. 名嘉村敬  
睡眠時無呼吸症候群に潜在する肥満低換気症候群を見逃さないために  
第61回日本呼吸器学会学術講演会  
2021年4月
3. 稲生真夕  
多発肺結節を呈し、転移性肺腫瘍との鑑別が困難であったメソトレキセート関連リンパ増殖性疾患の一例  
日本呼吸器学会誌 2186-5876 Vol.10 増刊 p.260  
2021年4月

#### 循環器センター (内科)

1. 上原裕規  
慢性心不全の最新の薬物治療 エンレスト処方症例を踏まえて  
リッカアーニーWEB講演会  
2021年5月
2. Abe Masami, Chiba Suguru,  
Kataoka Sayuri, Gima Yoshikatsu,  
Nago Chikashi, Hatano Sho,  
Chinen Toshiya, Nakamura Kentaro,  
Miyagi Naoto, Nakae Masakazu,  
Matsuzaki Akiko, Uehara Hiroki  
比較的若年のCOVID-19患者における発作性房室ブロック (Paroxysmal Atrioventricular Block in a Relatively Young Patient with COVID-19) (英語)  
Internal Medicine 0918-2918 Vol.60 No.16  
p.2623-2626  
2021年8月
3. 上原裕規  
心不全診療の包括管理 カリウム管理・治療の重要性を含む  
Cardio-Renal Joint Seminar

2021年9月

4. 上原裕規  
総合座長  
心不全重症化予防を考える会  
2021年9月
5. 名護元志  
パネリスト  
心不全重症化予防を考える会  
2021年9月
6. 上原裕規  
PCIライブ コメンテーター  
第31回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会  
2021年10月
7. 上原裕規  
一般演題4：急性冠症候群1 座長  
第31回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会  
2021年10月

#### 循環器センター (心臓血管外科)

1. 盛島祐次, 新垣勝也, 國吉幸男  
高血圧性心不全を繰り返す高安動脈炎、異型大動脈縮窄症に対して上行大動脈-腹部大動脈バイパス術を施行した1例  
第131回沖縄県医師会医学会総会  
2021年6月
2. 盛島祐次, 新垣勝也, 國吉幸男  
2回の大動脈基部置換を要した再発性PVEの1例  
第54回日本胸部外科学会九州地方会総会  
2021年7月

#### 消化器病センター (外科)

1. 伊禮俊充

- 【新春干支随筆】4回目の丑年を沖縄で迎えるにあたって  
 沖縄県医師会報 Vol.57 No.1 p.107  
 2021年1月
2. Kameyama Shinichiro, Motonari Haruka, Irei Toshimitsu, Ishimine Tomonari  
 腹腔鏡下膵体尾部切除術を施行した膵上皮内癌の患者 (Patients with pancreatic intraepithelial carcinoma who undergo laparoscopic distal pancreatectomy) (英語)  
 日本内視鏡外科学会雑誌 1344-6703 Vol.25 No.7 p.DP108-2  
 2021年2月
  3. Kameyama Shinichiro, Motonari Haruka, Irei Toshimitsu, Ishimine Tomonari  
 通常の膵管腺癌後の残存膵癌に対する残膵全摘術 (Total remnant pancreatectomy for residual pancreatic cancer after conventional pancreatic ductal adenocarcinoma) (英語)  
 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集32回 p.566  
 2021年2月
  4. Irei Toshimitsu, Motonari Haruka, Kameyama Shinichiro, Ishimine Tomonari  
 膵神経内分泌腫瘍に対する膵手術の手術成績 (Surgical outcomes of pancreatic surgery for pancreatic neuroendocrine neoplasms in our hospital) (英語)  
 日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集32回 p.528  
 2021年2月
  5. 佐村博範, 新垣淳也, 山城直継, 堀義城, 長嶺義哲, 古波倉史子  
 大腸癌肝転移に対し化学療法放射線化学療法逐次療法を施行した2例  
 日本大腸肛門病学会雑誌 0047-1801 Vol.74 No.2 p.109  
 2021年2月
  6. Motonari Haruka, Utsunomiya Takashi, Harada Tetsuji, Yamashiro Naotsugu, Taniguchi Haruki, Hori Yoshiki, Irei Toshimitsu, Arakaki Junya, Samura Hironori, Kameyama Shinichiro, Ishimine Tomonari  
 腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術の安全性と有用性 (Safety and usefulness of laparoscopic ventral hernia repair in our hospital) (英語)  
 日本内視鏡外科学会雑誌 1344-6703 Vol.25 No.7 p.DP109-21  
 2021年3月
  7. Arakaki Junya, Samura Hironori, Hori Yoshiki, Yamashiro Naohugu, Sugata Kazuki, Taniguchi Haruki, Nagamine Yoshitetsu, Utsunomiya Takashi, Harada Tetsuji, Irei Toshimitsu, Motonari Haruka, Kameyama Shinichiro, Ishimine Tomonari  
 腹腔鏡下結腸右半切除術の手技 (laparoscopic right hemicolectomy technique of our Hospital) (英語)  
 日本内視鏡外科学会雑誌 1344-6703 Vol.25 No.7 p.DP105-45  
 2021年3月
  8. 佐村博範, 新垣淳也, 堀義城, 山城直継, 宇都宮貴史, 本成永, 谷口春樹, 伊禮俊充, 亀山眞一郎, 伊志嶺朝成  
 直腸GISTに対する前方横会陰筋アプローチによる内視鏡的腫瘍切除術 (Endoscopic tumor resection with an anterior transverse perineal muscle approach for rectal GIST) (英語)  
 日本内視鏡外科学会雑誌 1344-6703 Vol.25 No.7 p.DP6-6  
 2021年3月
  9. 新垣淳也, 佐村博範, 堀義城, 山城直嗣, 古波倉史子, 宇都宮貴史, 菅田一貴, 谷口春樹, 長嶺義哲, 原田哲嗣, 伊禮俊充, 本成永,

- 亀山眞一郎, 伊志嶺朝成  
大腸がん手術における合併症回避の工夫 大腸  
癌手術における当院の合併症回避の工夫  
日本内視鏡外科学会雑誌 1344-6703 Vol.25 No.7  
p.WS16-4  
2021年3月
10. Irei Toshimitsu, Motonari Haruka,  
Kameyama Shinichiro, Ishimine Tomonari  
膵管腺癌に対する膵切除後に異時性肺  
転移を切除した4例 (Four cases involving  
resection of metachronous lung metastasis  
after pancreatectomy for pancreatic duct  
adenocarcinoma) (英語)  
日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄  
録集33回 p.396  
2021年6月
11. 佐村博範, 新垣淳也, 堀義城, 山城直継,  
平田智弘, 長嶺義哲, 古波倉史子  
当院の高度進行大腸癌に対する治療戦略  
第46回日本大腸肛門病学会九州地方会  
2021年10月
12. 佐村博範, 新垣淳也, 宇都宮貴史, 原田哲嗣,  
山城直嗣, 本成永, 堀義城, 伊禮俊充,  
亀山眞一郎, 伊志嶺朝成  
治癒切除困難進行横行結腸癌4例の治療戦略  
日本消化器外科学会総会76回 p.P139-1  
2021年11月
13. 中谷芹菜, 堀義城, 山城直嗣, 新垣淳也,  
佐村博範, 古波倉史子  
S状結腸原発の平滑筋肉腫の一例  
日本大腸肛門病学会雑誌 0047-1801 Vol.74 No.8  
p.516  
2021年11月
14. 佐村博範, 新垣淳也, 山城直嗣, 堀義城,  
古波倉史子  
結腸癌傍大動脈リンパ節転移に対する集学的治  
療の可能性  
第76回日本大腸肛門病学会学術集会
- 2021年11月
15. 佐村博範  
一般演題 (口演) 30: 外科22 高齢者大腸癌2  
座長  
第76回日本大腸肛門病学会学術集会  
2021年11月
16. 新垣淳也  
一般演題 (口演) 68: 座長  
第76回日本大腸肛門病学会学術集会  
2021年11月
17. 新垣淳也, 佐村博範, 古波倉史子, 堀義城,  
山城直嗣, 谷口春樹, 長嶺義哲, 原田哲嗣,  
本成永, 伊禮俊充, 亀山眞一郎, 伊志嶺朝成  
術前化学療法 (NAC) 施行した局所進行下部  
直腸癌手術症例  
第76回日本大腸肛門病学会学術集会  
2021年11月
18. 佐村博範  
特別講演 座長  
第82回沖縄県外科会  
2021年11月
19. 伊禮俊充  
当院における通常型膵切除成績と再発部位別の  
特徴  
第82回沖縄県外科会  
2021年11月
20. 伊禮俊充  
ミニレクチャー I 座長  
第82回沖縄県外科会  
2021年11月
21. 伊志嶺朝成  
当番世話人  
第82回沖縄県外科会  
2021年11月
22. 堀義城, 伊禮俊充, 原田哲嗣, 山城直嗣,

本成永, 金城直, 新垣淳也, 佐村博範,  
 亀山眞一郎, 長嶺義哲, 古波倉史子,  
 伊志嶺朝成, 鶴田裕真, 松崎晶子  
**CAPOX療法にて高アンモニア血症を生じ  
 BRTOでControlを得た脾腎シャントの1例**  
 癌と化学療法 0385-0684 Vol.48 No.12 p.1507-  
 1510  
 2021年12月

23. 伊禮俊充  
 横隔膜浸潤を伴う直腸癌肝転移再発および傍椎  
 体転移に対し腹腔鏡下再肝切除/胸腔鏡下腫瘍  
 切除を施行した1例  
 第34回日本内視鏡外科学会総会  
 2021年12月
24. 原田哲嗣, 宇都宮貴史, 山城直継, 本成永,  
 堀義城, 伊禮俊充, 新垣淳也, 佐村博範,  
 亀山眞一郎, 伊志嶺朝成  
**腹腔鏡下に切除した小腸間膜キャスルマン病  
 の2例**  
 第34回日本内視鏡外科学会総会  
 2021年12月

**消化器病センター (内科)**

1. 金城福則  
 【新春干支随筆】 丑年に因んで  
 沖縄県医師会報 Vol.57 No.1 p.80-81  
 2021年1月
2. 寺本彰, 瑞慶山隆太, 松川しのぶ, 普久原朝史,  
 高木亮, 小橋川嘉泉, 内間庸文, 仲吉朝邦,  
 金城福則  
**COVID-19流行期の内視鏡診療における来院前  
 問診の臨床的意義 沖縄県浦添地区での検討**  
 日本消化管学会雑誌 2433-3840 Vol.5 Suppl.  
 p.116  
 2021年1月
3. 瑞慶山隆太, 金城徹, 寺本彰, 普久原朝史,  
 松川しのぶ, 高木亮, 小橋川嘉泉, 内間庸文,

仲吉朝邦, 金城福則  
**メチルドパ服用で潰瘍性大腸炎様の薬剤性腸炎  
 をきたした1例**  
 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内  
 視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集117  
 回・111回 p.174  
 2021年6月

4. 金城福則, 瑞慶山隆太, 普久原朝史,  
 松川しのぶ, 高木亮, 小橋川嘉泉, 内間庸文,  
 仲吉朝邦, 寺本彰, 宮城純  
**好酸球性胃腸炎の経過中に自然脱落した大腸ポ  
 リープの1例**  
 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内  
 視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集117  
 回・111回 p.173  
 2021年6月
5. 高木亮, 小橋川嘉泉, 亀山眞一郎,  
 伊志嶺朝成, 松崎晶子  
**膵・消化管領域における診断的EUSとEUS-  
 FNAの現状と展望 当院における膵腫瘍に対  
 するEUS-FNA病理診断の成績**  
 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内  
 視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集117  
 回・111回 p.100  
 2021年6月

6. 高木亮  
 一般演題：胆膵3 座長  
 第118回日本消化器病学会・第112回日本消化器  
 内視鏡学会九州支部例会  
 2021年12月

**スポーツ・関節外科センター**

1. 丸山和典, 石塚光太郎, 大城朋之, 上里智美<sup>※</sup>  
 ※ロクト整形外科クリニック  
**外傷に起因する母趾MP関節内側靭帯損傷と滑  
 膜炎に対し、観血的靭帯修復術と鏡視下滑膜切  
 除を併用した1例**  
 JOSKAS/JOSSM meeting 2021/第13回日本関

節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 第47回日本  
整形外科スポーツ医学会学術集会  
2021年6月

2. 植田大貴, 丸山和典, 石塚光太郎, 宮里剛行\*  
※ロクト整形外科クリニック  
Lisfranc subtle injuryに対してsuture button  
固定にsuture tapeとsuture anchorによる補強  
を用いた5例の短期成績  
日本足の外科学会雑誌 0916-7927 Vol.42 No.1  
p.62-165  
2021年8月
3. 石塚光太郎, 丸山和典, 中村憲明, 植田大貴  
サッカープレイヤーの陳旧性シンデスモーシス  
損傷の診断に超音波検査が有効で鏡視下手術を  
行った1例  
第46回日本足の外科学会学術集会  
2021年10月
4. 丸山和典, 石塚光太郎, 植田大貴, 中村憲明  
末期のFreiberg病に対し関節内背屈骨切り術  
を行った1例  
第46回日本足の外科学会学術集会  
2021年10月
5. 都甲溪, 石塚光太郎, 丸山和典, 大城朋之  
母趾基節骨骨折後に第1趾間に発症したMorton  
病に対し神経切除術を施行した1例  
第142回西日本整形・災害外科学会学術集会  
2021年11月
6. 丸山夏希, 丸山和典, 石塚光太郎, 正木久美,  
武藤亮, 大城朋之  
下腿骨折手術を契機に診断し得た、性腺機能低  
下症による続発性骨粗鬆症の1例  
第142回西日本整形・災害外科学会学術集会  
2021年11月

#### 糖尿病センター

1. 難波豊隆, 愛知佳奈, 喜瀬道子, 石川和夫

サルコイドーシスによる中枢性尿崩症診断後、  
約1年の経過でDDAVPを中止しえた1例  
日本内分泌学会雑誌 0029-0661 Vol.96 No.3  
p.862  
2021年1月

2. 難波豊隆, 愛知佳奈, 池間朋己, 喜瀬道子,  
石川和夫  
血漿アルドステロン濃度CLEIA法でAldosterone  
renin ratio 200未満であったが、RIA法換算式  
では200以上となった症例の検討  
日本内分泌学会雑誌 0029-0661 Vol.97 No.4  
p.1041  
2021年12月

#### 乳腺センター

1. 宮里恵子  
当番世話人  
第82回沖縄県外科会  
2021年11月

#### 脳血管・脊髄センター

1. 原國毅  
座長  
第一三共主催 Webセミナー 沖縄の脳を守る  
2021年3月
2. 原國毅  
当院における頸部内頸動脈狭窄症に対する  
CASPER Rxによる治療経験  
脳血管内治療 2423-9119 Vol.6 Suppl. p.S294  
2021年11月
3. 原國毅  
特別企画3 沖縄県での脳・神経外科における  
脊髄疾患の治療の現状  
第24回日本臨床脳神経外科学会  
2021年11月



**神経内科**

1. 取材) 眞喜志直子  
インタビュー) ワクチン接種会場で流すスライドを制作、「情報のワクチン」拡散を目指す  
眞喜志直子・浦添総合病院神経内科医師に聞く  
Vol.1  
m3.com 地域版 2021.12.10 配信  
2021年12月
2. 取材) 眞喜志直子  
インタビュー) 学校「保健便り」を病院が作成、正しい情報を家庭に届ける 眞喜志直子・浦添総合病院神経内科医師に聞く Vol.2  
m3.com 地域版 2021.12.17 配信  
2021年12月

**緩和ケア**

1. 新里誠一郎, 勝田充重, 古波倉史子,  
金城りか, 宮城由依子, 大城朋子, 本村恵,  
前田朝規, 平良浩代, 渡慶次智子, 比嘉玲子  
高度進行原発性肝臓が自然退縮し5年6ヵ月生存し、生活と趣味を楽しんでいた症例  
Palliative Care Research 1880-5302 Vol.16  
Suppl\_Kyushu p.S805  
2021年12月

**形成外科**

1. 安田路規  
右用ダブルルーメンチューブを使用した左肺切除症例の検討  
第21回日本抗加齢医学会総会  
2021年6月
2. 安田路規, 玉城秀行, 多田惇<sup>\*</sup>  
<sup>\*</sup>神鋼記念病院  
当院での背部弾性線維腫手術症例の検討  
第35回神戸形成外科集談会  
2021年11月

3. 玉城秀行, 丸山和典, 安田路規  
人咬傷から左上肢壊死性筋膜炎に進展した一例  
第35回神戸形成外科集談会  
2021年11月

**腎臓内科**

1. 上地正人  
CAPDカテーテル位置異常に $\alpha$ 修復を試みた一例  
第38回沖縄県人工透析研究会  
2021年3月
2. 上地正人, 本成永, 伊志嶺朝成  
高齢腎不全患者およびラストPD患者に新APDシステム(かぐや)は有効と考える  
第38回沖縄県人工透析研究会  
2021年3月

**病院総合内科**

1. 水本小百合, 難波豊隆, 愛知佳奈, 喜瀬道子,  
石川和夫  
低栄養により著明なACTH、コルチゾール高値を示した偽性クッシング症候群の一例  
日本内分泌学会雑誌 0029-0661 Vol.96 No.3  
p.860  
2021年1月
2. 栗原健  
ホスピタリストが行うM&Mカンファレンス  
医療安全におけるホスピタリストの役割とは  
第21回日本病院総合診療医学会学術総会  
2021年2月
3. 川田健太郎, 鈴木智晴, 徳田安春<sup>\*</sup>  
<sup>\*</sup>群星沖縄臨床研修センター  
オール沖縄!カンファレンス レジデントの対応と指導医の考え(Ver.2.0)(第50回)「意識状態ですか?いつもと変わらないですよ」高齢

- 者診療で正確な情報を得るための壁を、どう乗り越えるか?  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.2 p.230-234  
2021年2月
4. 栗原健  
【肺炎診療のピットフォール-COVID-19から肺炎ミックまで】感染性肺炎と紛らわしい病態 膠原病に伴う肺疾患  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.2 p.213-216  
2021年2月
5. 石井大太, 中野弘康, 須藤博  
研修医 Issy & Hiro & Sudo のとびだせフィジカル! 聴診音付 第4回 胸痛のフィジカル  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.4 p.509-513  
2021年4月
6. 栗原健  
【救急診療 好手と悪手】中枢神経系 Guillain-Barre症候群 GBSを否定する際はご用心!  
Medicina 0025-7699 Vol.58 No.4 p.48-51  
2021年4月
7. 鈴木智晴  
【救急診療 好手と悪手】破傷風 誤認・誤解 されやすい vaccine-preventable disease  
Medicina 0025-7699 Vol.58 No.4 p.261-265  
2021年4月
8. 栗原健  
【救急診療 好手と悪手】その他 異物誤飲 いつ、何を誤飲したかが重要!  
Medicina 0025-7699 Vol.58 No.4 p.290-293  
2021年4月
9. 石井大太, 中野弘康, 須藤博  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだせフィジカル! 聴診音付 (第5回) 心臓のフィジカル (Part1)  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.5 p.635-639  
2021年5月
10. Kabasawa Shin, Suzuki Tomoharu, Mizumoto Sayuri, Kinjo Shunichi, Tokuda Yasuharu  
トルソー症候群 膵がんを伴う動静脈血栓症の一例 (Trousseau's Syndrome: A Case of Arterial and Venous Thrombosis with Pancreatic Cancer) (英語)  
ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集2021巻 p.125  
2021年6月
11. Hamada Seiji, Suzuki Tomoharu, Mizumoto Sayuri, Kinjo Shunichi, Tokuda Yasuharu  
脊椎結核 発展途上国では依然として極めて類似した疾患が存在する (Spinal Tuberculosis: A Great mimicker is still present in a developed country) (英語)  
ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集2021巻 p.105  
2021年6月
12. Maruyama Natsuki, Suzuki Tomoharu, Mizumoto Sayuri, Kinjo Shunichi, Tokuda Yasuharu  
危険なイチゴジェラート Ludwig angina 診断に関する有望な手がかり (A Dangerous Strawberry Gelato: A Potential Diagnostic Clue for the Ludwig Angina) (英語)  
ACP (米国内科学会) 日本支部年次総会プログラム集2021巻 p.98  
2021年6月
13. 小渡由菜, 鈴木智晴, 金城俊一  
成人で発症したStreptococcus gallolyticus subsp.pasteureanus脳室炎の一例  
沖縄医学会雑誌 0911-5897 Vol.60 No.1 p.34  
2021年6月
14. 石井大太, 須藤博  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだせフィジカル! 聴診音付 (第6回) 心臓のフィジカル (Part2)

総合診療 2188-8051 Vol.31 No.6 p.787-791  
2021年6月

15. 石井大太, 須藤博  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第7回) 心臓のフ  
ィジカル (Part3)  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.7 p.897-900  
2021年7月

16. 石井大太, 中野弘康, 須藤博  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第8回) 心臓のフ  
ィジカル (Part4)  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.8 p.1030-1034  
2021年8月

17. Kurihara Masaru, Tokuda Yasuharu\*  
※群星沖縄臨床研修センター  
セフトリアキソン投与による偽胆石症  
(Ceftriaxone-associated pseudolithiasis)  
(英語)  
Journal of General and Family Medicine 2189-  
6577 Vol.22 No.5 p.293  
2021年9月

18. 石井大太, 中野弘康, 須藤博  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第9回) 心臓聴診ク  
イズ!  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.9 p.1144-1148  
2021年9月

19. 鈴木智晴  
日本人におけるオタワくも膜下出血ルールの感  
度における外的妥当性の検証  
第23回日本病院総合診療医学会学術総会  
2021年9月

20. 鈴木智晴  
くも膜下出血の診断エラーの頻度と診断エラー  
に関連した要因の解析  
第23回日本病院総合診療医学会学術総会

2021年9月

21. 石井大太, 中野弘康  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第10回) 腹痛の  
フィジカル (Part 1)  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.10 p.1323-1327  
2021年10月

22. Kurihara Masaru, Nagao Yoshimasa,  
Tokuda Yasuharu\*  
※群星沖縄臨床研修センター  
日本の研修医におけるインシデントレポー  
ト 全国調査 (Incident reporting among  
physicians-in-training in Japan: A national  
survey) (英語)  
Journal of General and Family Medicine 2189-  
6577 Vol.22 No.6 p.356-358  
2021年11月

23. 石井大太, 中野弘康  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第11回) 腹痛の  
フィジカル (Part 2)  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.11 p.1410-1413  
2021年11月

24. 石井大太  
研修医Issy & 指導医Hiro & Dr.Sudoのとびだ  
せフィジカル! 聴診音付 (第12回) 録音聴  
診器のススメ[最終回]  
総合診療 2188-8051 Vol.31 No.12 p.1546-1549  
2021年12月

放射線科

1. 中俣彰裕, 與儀彰<sup>\*1</sup>, 塩谷紫<sup>\*1</sup>, 仲村貞郎<sup>\*2</sup>,  
知念安紹<sup>\*2</sup>, 要匡<sup>\*3</sup>, 岡本伸彦<sup>\*4</sup>, 村山貞之<sup>\*2</sup>  
※1 琉球大学放射線診断治療学講座 ※2 琉球大学育成  
医学講座 ※3 国立成育医療研究センター ゲノム医  
療研究部 ※4 大阪母子医療センター遺伝診療科  
CASK遺伝子異常による小頭症・橋小脳低形成

の1例

第57回日本小児放射線科学会学術集会  
2021年7月

17回 p.06-03  
2021年7月

2. 中俣彰裕

症例検討4-1  
第41回神経放射線ワークショップ Web開催  
2021年7月

3. 村山貞之

肺癌を見落とさないための放射線診断  
肺癌 0386-9628 Vol.61 No.Suppl. p.908-910  
2021年11月

一般外来

1. 大城登代子, 川満千恵美, 城間恵子, 木下佳恵,  
徳元ひろみ, 喜納薫, 寺本彰, 内間庸文,  
小橋川嘉泉, 仲吉朝邦, 金城福則  
COVID-19でみえた感染管理の重大さと課題  
COVID-19流行期の内視鏡検査受診者への電話  
での来院前問診を試みて  
日本消化器内視鏡技師会会報 No.67 p.98-99  
2021年9月

歯科口腔外科

1. 山城美咲, 平良浩代, 上間友代, 宇良美奈子,  
翁長由美, 末吉亜李沙, 梶浦由加里,  
藤森香菜子, 村橋信, 新崎章\*, 伊藤智美  
※琉球大学医学部附属病院  
歯科口腔外科における他診療科からの紹介患者  
の統計および今後の取り組みについて  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.4  
2021年3月

救命救急センター外来

1. 浦添美樹, 新垣拓也, 金城裕介, 成瀬朱理,  
平良盛人, 那須道高, 蔵下要  
救命病棟看護師の手指衛生遵守率に影響を与え  
る要因分析  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.2  
2021年3月
2. 山田竜也, 成瀬朱理, 西川静香, 比嘉祥之  
緊急心臓カテーテル前の患者の心境  
日本救急看護学会雑誌 1348-0928 Vol.23 Suppl.  
p.OD104-03  
2021年10月

初期研修医

1. 濱田誠司  
活動性大腸憩室出血に対するHSE局所注射とク  
リッピング併用療法の有用性  
第118回日本消化器病学会・第112回日本消化器  
内視鏡学会九州支部例会  
2021年12月

キャリア開発室

1. 宮城絵美, 古謝真紀, 安里宏美, 松永宏美  
特定行為研修修了生によるRRS活動の報告 一  
般病棟リーダー看護師へのアンケート結果から  
日本クリティカルケア看護学会学術集会抄録集

北5階病棟

1. 津波古正美, 宮里志津乃, 津波杏奈,  
新里誠一郎  
急性期病棟看護師のがん性疼痛評価方法につい  
て 看護記録における、がん性疼痛評価の習慣  
化  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.1  
2021年3月

**南4階病棟**

1. 高嶺莉菜, 赤田幸司, 平安山ちせ, 友利美南, 中村涼子, 具志徳子, 川島朋之, 原國政直, 伊藤智美  
手指衛生遵守率維持向上への取り組み  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.14  
2021年3月

**東3階病棟**

1. 前田兼太郎, 平敷香織, 石新友乃, 原國政直, 伊藤智美  
手指衛生遵守率上昇につながった勉強会、マイサーベイランスの介入効果  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.3  
2021年3月

**栄養管理サービス部**

1. 安里あきの, 友利登子, 仲間清美, 亀山眞一郎  
入退院支援室における管理栄養士の関わり  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.6  
2021年3月
2. 仲座美香  
退院支援の充実化を図るために入院初期から退院にむけた栄養介入を実施した取り組み  
第36回日本臨床栄養代謝学会  
2021年8月
3. 宮城由依子, 仲座美香, 仲間清美  
地域へ繋ぐ退院支援を目指して 急性期病院の役割  
学会誌JSPEN 2434-4966 Vol.3 Suppl.1 p.813  
2021年10月

**ME科**

1. 脇田亜由美

**COVID-19におけるECMO管理とカテーテル検査室の運用**

Cath Lab JIN 2434-2564 Vol.4 No.1 p.73-77  
2021年1月

**感染防止対策室**

1. 原國政直  
[となりのウイルス ウイルスを知って、感染予防や対策につなげよう]第1特集 今だから語ろう、ウイルスを ウイルスと戦う方法 1.消毒液  
Rp.+ (レシピプラス) Vol.20 No.2 p.36-40  
2021年4月
2. 原國政直  
ラジオから聴いて学ぶ 新型コロナウイルス感染症  
浦添市民公開講座 FM21 (ラジオ放送) 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー主催  
2021年4月
3. 原國政直  
新型コロナウイルスに負けない!~沖縄県における多職種のさらなる挑戦~ 浦添総合病院の取り組みとこれまでの軌跡  
日臨技九州支部医学検査学会55回 p.np3  
2021年11月

**薬剤部**

1. 川平夢月, 村田利恵子, 浜元善仁, 川上博瀬, 翁長真一郎, 伊藤智美  
当院における睡眠薬の処方状況把握と転倒・転落への影響  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.16  
2021年3月
2. 浜元善仁  
抗菌薬アナザーストーリーズ (第27回) パン

コマイシンの血中濃度『背景を知る』ことは大事だなー

J-IDEO 2432-7077 Vol.5 No.4 p.620-621

2021年7月

3. 糸満盛尚, 浜元善仁, 石塚光太郎, 大城朋之  
スポーツファーマシストを介さないアンチ・ドーピング活動とその実態

日本臨床スポーツ医学会誌 1346-4159 Vol.29 No.4 p.S158

2021年10月

4. 岸本卓  
当院における肺炎球菌ワクチン接種共有化に向けた取り組み

第31回日本医療薬学会年会

2021年10月

5. 取材) 翁長真一郎  
「合同フォーミュラー」、医療安全に貢献  
沖縄県の3病院、後発品供給不安で経済効果は不透明

日刊薬業 2021年12月6日(月)号 Web版

2021年12月

6. 親富祖翔太郎  
当院での骨粗鬆症治療薬に関する診療フローの作成と実践

第31回日本医療薬学会年会

2021年12月

#### リハビリテーション部

1. 松尾のぞみ  
急性期病院における病棟専任配置の効果  
理学療法学 0289-3770 Vol.47 Suppl.1 p.62  
2021年3月
2. 久貝尚仁, 伊東修一, 野里美江子, 松尾のぞみ, 中松典子  
心不全、高度肥満を合併した糖尿病患者の歩行獲得、退院調整に難渋した一例

理学療法学 0289-3770 Vol.47 No.Suppl.1 p.123  
2021年3月

3. 松尾のぞみ, 伊東修一, 中松典子, 城田真一  
北5階病棟におけるリハビリ専任者配置後の現状

社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.8  
2021年3月

4. 野里美江子, 伊東修一, 松尾のぞみ, 中松典子, 城田真一  
ロボットスーツHAL(単関節型)のアシスト量変化率と日常生活動作との関わり

社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.5  
2021年3月

5. 金城大輔  
当院における大腿骨近位部骨折患者の転帰先の検討 早期転帰先に関わる因子の検討

九州理学療法学会大会2021 from Sasebo,長崎  
2021年10月

#### 臨床検査部

1. 山城莉加子, 上原正邦  
当院のMRCP撮像の工夫  
第39回 琉球signa Users Meeting  
2021年1月
2. 大城春奈, 上地あゆみ, 下地法明, 普天間文也, 玉城格, 栗国徳幸, 手登根稔, 蔵下要  
血液培養採取量の把握と向上に向けての取り組み  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.20  
2021年3月
3. 普天間文也, 渡辺淳之介, 高橋和彦, 山野健太郎, 玉城格, 栗国徳幸, 上原正邦, 手登根稔, 蔵下要  
NASH、NAFLにおける肝線維化マーカーとしてのFib-4 indexの有用性  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.9

2021年3月

**臨床支援課 図書室**

1. 鳥袋英子, 佐久川長之, 譜久村由美子,  
伊志嶺朝成  
地域医療従事者向け図書室サービス 地域医療  
支援病院として  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.15  
2021年3月

**健診センター 健診検査課**

1. 平山真帆, 平良年子, 玉城政浩, 大城七海,  
石川実, 小島正久, 久田友一郎  
トランスフェリンを追加導入した便潜血の評価  
について  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.18  
2021年3月

**健診センター健診渉外課**

1. 西原聖, 石嶺香, 玉城聖也, 上原夕乃,  
平良哲哉, 田口里美, 久田友一郎, 伊藤智美  
商業施設に特定健診・特定保健指導クリニック  
を開設 活動報告と今後の課題  
社会医療法人仁愛会医報 2185-5366 Vol.21 p.11  
2021年3月

## 「社会医療法人 仁愛会医報」投稿規定

- 1、本誌への投稿者は、仁愛会職員ならびに関係者とする。但し特別講演、シンポジウム等はこの限りではない。
- 2、投稿は、他誌に未発表のものとする。
- 3、提出した論文、抄録および業績データの著作権は仁愛会に帰属する。
- 4、論文原稿は、A4版、400字詰め（20字×20行の400字）15枚（本文並びに図表を含む）の6,000文字程度とする。
- 5、特別講演、シンポジウム及びこれに準ずる講演原稿は、400字詰め（20字×20行）15枚以内（図表を含む）12,000文字程度とする。
- 6、原稿はMicrosoft Word(横書き、現代仮名遣い)で作成する。フォントは明朝体、12ポイントとする。句読点、括弧などは1字分を費やし、改行の際には冒頭の1字分をあける。日本語は全角文字、英語は半角文字とする。
- 7、投稿論文は、タイトル・所属・著者名・200～400字程度の要旨・キーワード・本文(はじめに・対象と方法・結果・考察・結語)・参考文献の順とする。
- 8、数字は算用数字(半角)を用いる。但し成語はそのままとする。例えば十数回など。百分率など単行符号は次のような例による。(mm、cm、ml、dl、l、g、kg、mg、℃)
- 9、図表、写真はそのまま製版できる明瞭鮮明なものに限る。電子データの図表、写真はJpegなどで保存し、原稿に挿入する。電子データでない図表や写真を掲載する場合、写真は必ず印画(焼付)したものを提出し、原稿の右欄外に挿入場所を指定、朱書きする。また図表、写真の裏には著者名と挿入順の番号を記入する。
- 10、患者の個人情報保護の観点より、個人を特定できる情報の掲載は必要最低限とする。また、顔写真を掲載する場合は、目の部分を加工し、個人が特定できないよう配慮する。
- 11、原稿を投稿するときは、図表データも含めCDまたはUSBにて提出するとともに、同意書と紙原稿も提出する。また、投稿の際は必ずその写しを手元に保存する。
- 12、本文中に記載した引用文献は引用順に番号をつけ、本文中に1)、2)として引用箇所を明示する。その書き方は次の形式による。

雑誌の場合 → 著者名：論文題名、雑誌名、巻(号)：頁-頁、発行年

例) 1) 大城康一：DIC、腹直筋内血腫、深部大腿静脈血栓症を合併した重症破傷風の1例、  
ICUとCCU、18(2)、175-179、1994.

単行本の場合 → 著者名：引用部分の小タイトル、書名、発行所、発行地、版数、発行年、  
(必要に応じ用頁を最後につける。)

例) 5) 梅田博通：胸痛、現代医療社、東京、1983、96～103.

'A) 著者が3名以上の時には、・・・他または・・・et.alと省略

'B) 著者が2名の時にはそのまま記載

「社会医療法人仁愛会医報」投稿規定  
改訂2012.3.12  
改訂2014.9.8  
改訂 2015.9.14  
改訂 2018.3.29



# 同意書

仁愛会 御中

下記論文は、これまで他の雑誌に掲載されたものではないことを認めます。  
また、仁愛会医報への論文掲載にあたり、その著作権を仁愛会へ無償で譲渡することに同意します。  
尚、筆頭著者署名をもって、共著者の同意を得るものとします。

日付           年       月       日  
\_\_\_\_\_

論文名  
\_\_\_\_\_

筆頭著者署名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

共著者名  
\_\_\_\_\_

※共著者のサインが下記の欄に書ききれない場合には、この用紙をコピーしてお使い下さい。

社会医療法人 仁愛会医報 VOL.22・23

2023年3月 発行

発行者 社会医療法人 仁愛会 理事長 銘苺 晋

編集人 社会医療法人 仁愛会 病院事務部 診療部支援課

発行所 社会医療法人 仁愛会 ☎098(878)0231(代)

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

---

